

令和6(2024)年度 郡山市セーフコミュニティ 地域診断

Safe Community



郡山市セーフコミュニティ推進協議会 外傷サーベイランス委員会

地域診断データ一覧

- 1 福島県警察本部・郡山警察署・郡山北警察署
「交通白書」
※2023年の福島県、郡山市のデータは福島県生活環境部生活交通課からの情報提供
- 2 郡山警察署・郡山北警察署
「地域安全白書」
- 3 警察庁
「警察白書」
- 4 厚生労働省
「人口動態統計」
- 5 総務省消防庁
「消防白書」
- 6 福島県消防保安課
「消防防災年報」
- 7 郡山地方広域消防組合
「救急搬送データ（国表）」「救急搬送データ（詳細版）」「消防年報こおりやま」
※救急搬送データは「郡山市内」で搬送された救急搬送人員数を計上している。
- 8 郡山市こども家庭課
「相談等の取扱件数推移」
- 9 厚生労働省
「児童相談所における児童虐待相談対応件数」
- 10 郡山市地域包括ケア推進課
「センター別包括的支援事業の実施状況」
- 11 内閣府男女共同参画局
「配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等」
- 12 厚生労働省労働基準局・福島労働局・郡山労働基準監督署
「労働災害発生状況」
※郡山労働基準監督署管轄は郡山市のほかに田村市、三春町、小野町、本宮市、大玉村を含む。
- 13 総務省統計局
「人口推計」の各年4月1日現在
「国勢調査」調査年の10月1日現在
- 14 福島県統計課
「福島県現住人口調査月報」の各年4月1日現在
- 15 郡山市政策統計課
「郡山市の現住人口」の各年4月1日現在
「郡山市住民基本台帳人口」の各年1月1日現在

目 次

地域診断について	 1
けがや事故が占める割合	 2
人口	 3
郡山市の人口	
郡山市の人口構成について	
諸率の算出に用いた人口	
分野1 交通安全	 6
(1) 交通事故の発生状況推移	
(2) 交通事故による死傷者数推移	
(3) 交通事故を要因とした救急搬送者推移	
(4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合(郡山市)	
(5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合(郡山市)	
(6) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢別重症度率(郡山市)	
(7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市)	
(8) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所(郡山市)	
(9) 自転車乗車中の死傷者数推移	
(10) 県内の自転車乗車中事故の死傷者数で郡山市が占める割合	
分野2 こどもの安全	 12
(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された新生児～乳幼児の推移	
(2) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された少年の推移	
(3) 救急搬送されたこどものけがや事故の種別(郡山市)	
(4) こどもの救急搬送場所(郡山市)	
(5) 住宅から救急搬送されたこどものけがや事故種別(郡山市)	
(6) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所(郡山市)	
(7) 児童虐待の相談件数推移	
(8) 児童虐待種別の各年の割合	
(9) 児童虐待種別ごとの推移(郡山市)	
分野3 高齢者の安全	 17
(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の推移	
(2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別(郡山市)	
(3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所(郡山市)	
(4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類(郡山市)	
(5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率(郡山市)	
(6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数(郡山市)	
(7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数(郡山市)	
(8) 窒息による年代別死亡者数の割合(郡山市)	
(9) 高齢者の権利擁護における相談件数推移(郡山市)	

分野4 自殺予防

…… 22

- (1) 傷病及びその他外因ごとの死亡者数推移（郡山市）
- (2) 自殺者数推移
- (3) 年齢層別・男女別自殺者数（郡山市）
- (4) 自損行為を要因とした救急搬送者数推移
- (5) 自損行為を要因とした年齢階層別救急搬送者数推移（郡山市）
- (6) 自損行為を要因に救急搬送された男女別の割合の推移（郡山市）
- (7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合（郡山市）
- (8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合（郡山市）
- (9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数（郡山市）
- (10) 自損行為の救急搬送発生場所（郡山市）
- (11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所（郡山市）
- (12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）

分野5 防犯

…… 30

- (1) 刑法犯認知件数の推移
- (2) 凶悪及び粗暴犯認知件数合計の推移
- (3) 加害を要因とした救急搬送推移
- (4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成（郡山市）
- (5) 加害を要因とした救急搬送の男女別構成（郡山市）
- (6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所（郡山市）
- (7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）
- (8) 配偶者によるDV相談件数の推移（郡山市）

分野6 防災

…… 35

- (1) 火災を要因とした救急搬送者数推移
- (2) 出火件数と死傷者数の推移（郡山市）
- (3) 地域ごとの出火件数と死傷者数（郡山市）
- (4) 出火発生場所（郡山市）
- (5) 火災発生原因（郡山市）
- (6) 月別火災発生件数（郡山市）
- (7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）
- (8) 労働災害による死傷者数推移
- (9) 労働災害を要因とした救急搬送者数推移
- (10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市）
- (11) 労働災害による時間帯・曜日・月別死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (12) 男女別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (13) 休業見込み期間別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (14) 年代別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (15) 経験年数別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (16) 労働者数別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (17) 事故の型別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (18) 起因物別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）
- (19) 業種別労働災害発生状況（郡山労働基準監督署管轄内）

参考

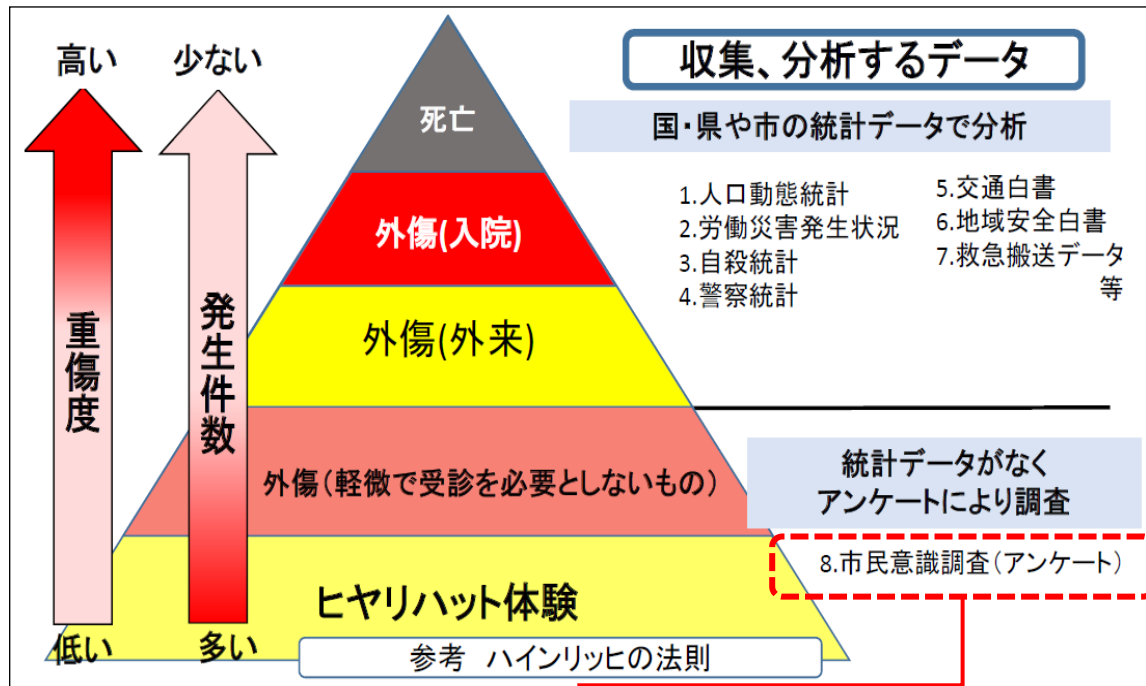
…… 48

地域診断について

地域診断は、郡山市におけるけがや事故の状況を明らかにするため平成26(2014)年度から隔年で実施しています。

第6回目となる今回は、これまでに収集した統計データを引き続き更新し、新たに6分野の対策委員会(交通安全、こどもの安全、高齢者の安全、自殺予防、防犯、防災)から提示された必要なデータのアンケート調査結果等を追加します。

また、地区・地域ごとの更なるセーフコミュニティ活動の推進に役立つデータ集とするため、地区・地域ごとのデータも追加します。



1 調査の概要

- (1) 調査地域：郡山市全域
- (2) 調査対象：郡山市内に在住する満18歳（令和6（2024）年7月1日時点）以上の者
- (3) 標本数：4,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの年代、地域を考慮した無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送による調査票の配布・回収、インターネットでの回答
- (6) 調査期間：令和6（2024）年7月12日（金）～8月16日（金）

2 アンケート回収数

1,648件（回収率 41.2%）
（紙回答 1,365件、インターネット回答 283件）

けがや事故が占める割合

セーフコミュニティは、「けがや事故」を予防することを目的としている。

人口動態統計によると、9割以上が病気による死亡である。

けがや事故が要因で亡くなる方の割合は、増減を繰り返し、横ばいで推移している。

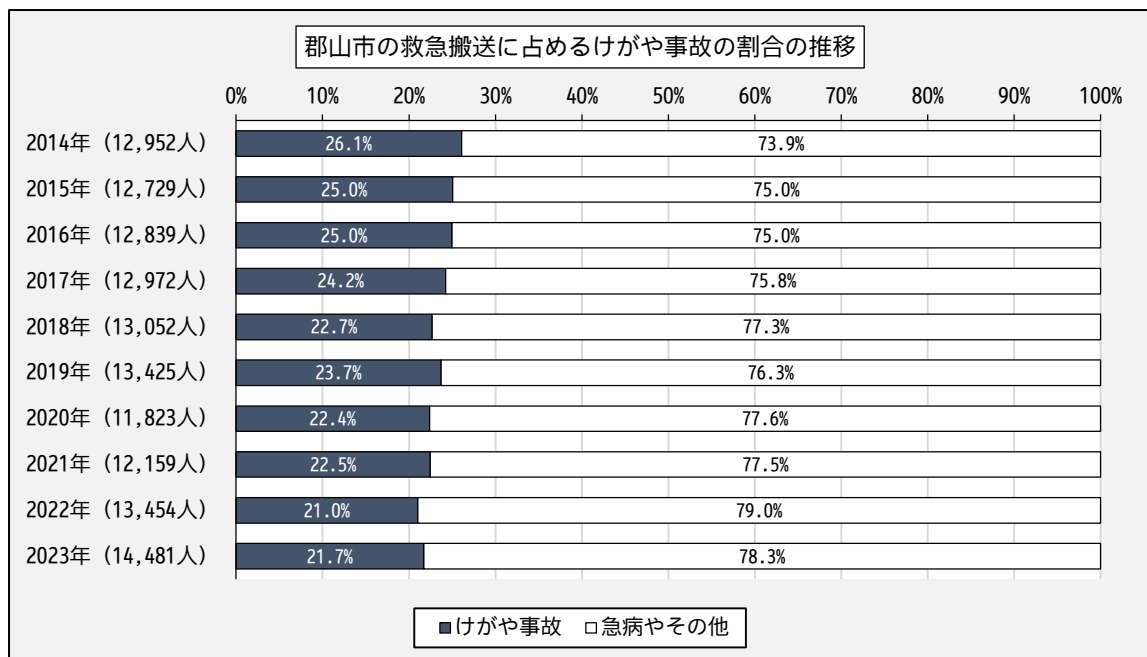


（備考）1 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

2 「けがや事故」は死因（死因簡単分類）のうち、「不慮の事故（交通事故、転倒・転落・墜落、不慮の溺死及び溺水、不慮の窒息、煙、火及び火災への曝露、有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露、その他の不慮の事故）」、「自殺」、「他殺」、「その他の外因」を合わせたもの

救急搬送データによると、7割以上が急病やその他による救急搬送要因となっている。

けがや事故による救急搬送の割合は、増減を繰り返しながらも、2014年に比べ2023年は減少している。



（備考）1 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 「けがや事故」は事故種別（傷基本）名のうち、「交通事故、一般負傷、自損行為、労働災害、加害、運動競技、火災、水難、自然災害」を合わせたもの

郡山市の人口

2014年1月1日現在

(単位：人)

年令	男	女	合計	構成率	構成率10歳毎		構成率現役世代等		
0-4	6,751	6,322	13,073	4.0%	0-9	8.4%	未成年 0-19	18.6%	
5-9	7,237	6,880	14,117	4.4%	10-19	10.2%			
10-14	8,234	7,891	16,125	5.0%	20-29	11.0%			
15-19	8,738	8,335	17,073	5.3%	30-39	13.2%			
20-24	8,666	8,164	16,830	5.2%	40-49	13.7%			
25-29	9,739	9,147	18,886	5.8%	50-59	13.4%	現役 世代 20-64	59.0%	
30-34	10,343	9,620	19,963	6.2%	60-69	13.8%			
35-39	11,885	11,110	22,995	7.1%	70-79	9.4%			
40-44	12,010	11,283	23,293	7.2%	80-89	5.7%			
45-49	10,503	10,516	21,019	6.5%	90-∞	1.1%			
50-54	10,741	10,602	21,343	6.6%	合計	100.0%	高齢① 65-74	11.2%	年金 受給 世代 65-∞
55-59	11,088	11,137	22,225	6.9%					
60-64	12,251	12,637	24,888	7.7%					
65-69	9,675	10,103	19,778	6.1%					
70-74	7,759	8,793	16,552	5.1%					
75-79	5,936	8,066	14,002	4.3%			高齢② 75-∞	11.2%	22.4%
80-84	4,352	7,149	11,501	3.5%					
85-89	2,330	4,812	7,142	2.2%					
90-94	643	2,136	2,779	0.9%					
95-99	141	551	692	0.2%					
100-104	15	75	90	0.0%					
105-109	0	8	8	0.0%					
110-114	0	0	0	0.0%					
合計	159,037	165,337	324,374	100.0%			合計	100.0%	

2024年1月1日現在

(単位：人)

年令	男	女	合計	構成率	構成率10歳毎		構成率現役世代等		
0-4	5,374	5,167	10,541	3.3%	0-9	7.5%	未成年 0-19	16.4%	
5-9	6,746	6,473	13,219	4.2%	10-19	8.9%			
10-14	6,999	6,577	13,576	4.3%	20-29	9.7%			
15-19	7,448	7,022	14,470	4.6%	30-39	11.4%			
20-24	8,118	7,303	15,421	4.9%	40-49	13.9%			
25-29	7,962	7,332	15,294	4.9%	50-59	13.9%	現役 世代 20-64	55.6%	
30-34	8,715	8,097	16,812	5.3%	60-69	13.2%			
35-39	9,835	9,400	19,235	6.1%	70-79	12.5%			
40-44	10,661	10,075	20,736	6.6%	80-89	6.8%			
45-49	11,884	11,317	23,201	7.4%	90-∞	2.0%			
50-54	11,839	11,372	23,211	7.4%	合計	100.0%	高齢① 65-74	13.9%	年金 受給 世代 65-∞
55-59	10,191	10,425	20,616	6.5%					
60-64	10,220	10,400	20,620	6.5%					
65-69	10,325	10,800	21,125	6.7%					
70-74	10,661	11,949	22,610	7.2%					
75-79	7,760	9,124	16,884	5.4%			高齢② 75-∞	14.1%	28.0%
80-84	5,323	7,406	12,729	4.0%					
85-89	2,992	5,632	8,624	2.7%					
90-94	1,251	3,409	4,660	1.5%					
95-99	283	1,113	1,396	0.4%					
100-104	24	139	163	0.1%					
105-109	2	10	12	0.0%					
110-114	0	0	0	0.0%					
合計	154,613	160,542	315,155	100.0%			合計	100.0%	

(備考) 1 「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」(郡山市政策統計課)を加工して作成

2 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある

3 セーフコミュニティ取組宣言をした2014年と比較

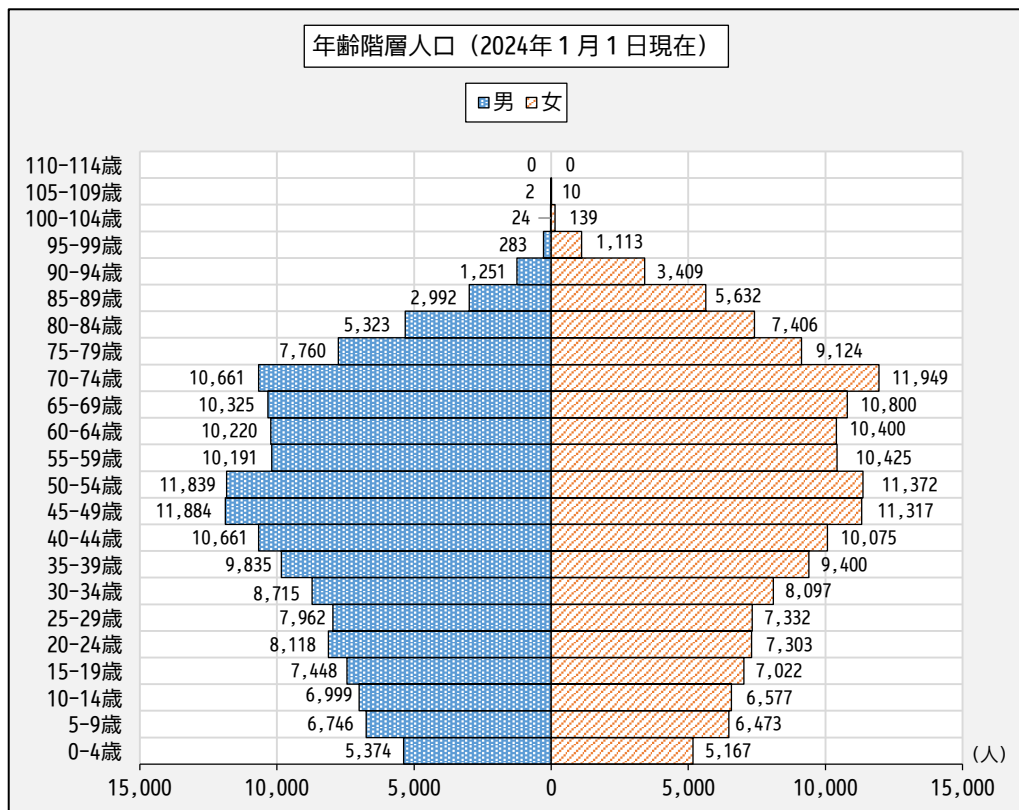
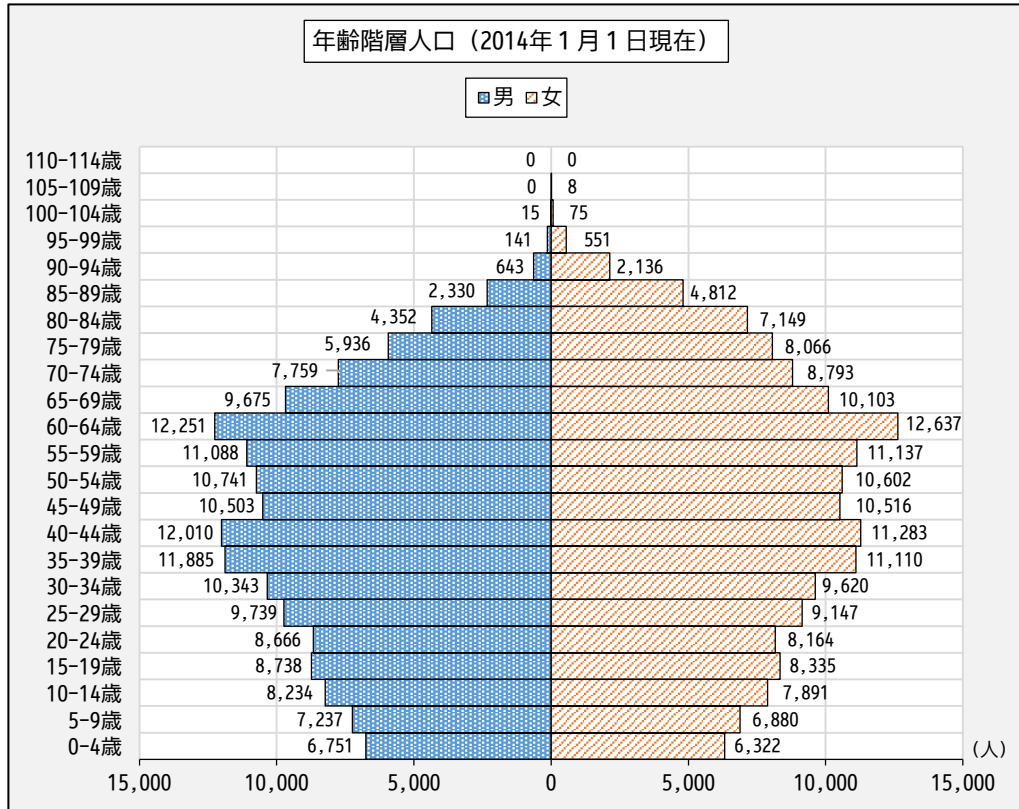
郡山市の人口構成について

2014年1月1日と2024年1月1日の人口構成比を比較する。

- ・未成年（0-19歳）は、18.6%から16.4%と2.2ポイント減少。
- ・現役世代（20-64歳）は、59.0%から55.6%と3.4ポイント減少。
- ・65歳以上は、22.4%から28.0%と5.6ポイント増加。

若い世代の人口が減少し、高齢者の人口が増加している。

高齢者（65歳以上）の人口は、全人口の4分の1以上を占めている。



（備考）「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」（郡山市政策統計課）を加工して作成

諸率の算出に用いた人口

表1 各年人口

(単位：人)

年	全国	福島県	郡山市
2014	127,135,773	1,937,530	328,135
2015	126,939,382	1,926,961	328,860
2016	126,990,772	1,903,383	335,493
2017	126,760,784	1,886,317	334,702
2018	126,501,966	1,867,150	333,108
2019	126,253,652	1,848,516	331,639
2020	125,929,817	1,830,006	330,787
2021	125,854,647	1,818,818	326,402
2022	125,071,329	1,796,497	324,586
2023	124,554,329	1,773,723	322,515

(備考)

全国：「人口推計（各年4月1日現在）」（総務省統計局）

福島県：「福島県の推計人口（各年4月1日現在）」（福島県企画調整部統計課）

郡山市：「郡山市の現住人口（各年4月1日現在）」（郡山市政策統計課）

表2 年齢別人口

(単位：人)

年	全国			
	0-6歳	7-17歳	18-64歳	65歳以上
2014	7,454,093	12,996,668	77,384,483	29,245,607
2015				
2016				
2017	7,086,411	12,407,682	72,681,453	33,465,441
2018				
2019				
2020				
2021	6,511,322	11,751,136	69,615,998	35,335,805
2022				
2023				

年	郡山市			
	0-6歳	7-17歳	18-64歳	65歳以上
2014	18,641	34,718	198,471	72,544
2015	18,453	33,896	195,599	73,818
2016	18,754	33,863	196,759	77,931
2017	18,739	33,342	195,149	79,621
2018	18,575	32,738	192,862	81,509
2019	18,325	32,171	190,680	82,933
2020	18,118	31,639	189,021	84,218
2021	17,672	31,175	187,034	85,513
2022	17,277	30,727	185,100	86,598
2023	16,473	30,530	183,089	87,394

(備考)

全国：「国勢調査（調査年の10月1日現在）」（総務省）

郡山市：「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口（福島県郡山市年齢階層別集計）（各年1月1日現在）」（郡山市政策統計課）

表3 郡山労働基準監督署管轄市町村人口

(単位：人)

年	郡山市	田村市	本宮市	三春町	小野町	大玉村	計
2014	327,751	38,006	30,565	17,364	10,492	8,411	432,589
2015	328,346	37,483	30,466	17,106	10,322	8,424	432,147
2016	335,231	38,133	30,803	18,178	10,368	8,716	441,429
2017	334,327	37,539	30,789	18,073	10,213	8,750	439,691
2018	332,824	36,905	30,656	17,831	10,062	8,845	437,123
2019	331,388	36,227	30,571	17,623	9,807	8,954	434,570
2020	330,310	35,532	30,334	17,436	9,605	8,932	432,149
2021	326,219	34,746	30,171	16,925	9,380	8,870	426,311
2022	324,309	34,016	30,037	16,742	9,081	8,862	423,047
2023	322,190	33,294	29,952	16,558	8,860	8,861	419,715

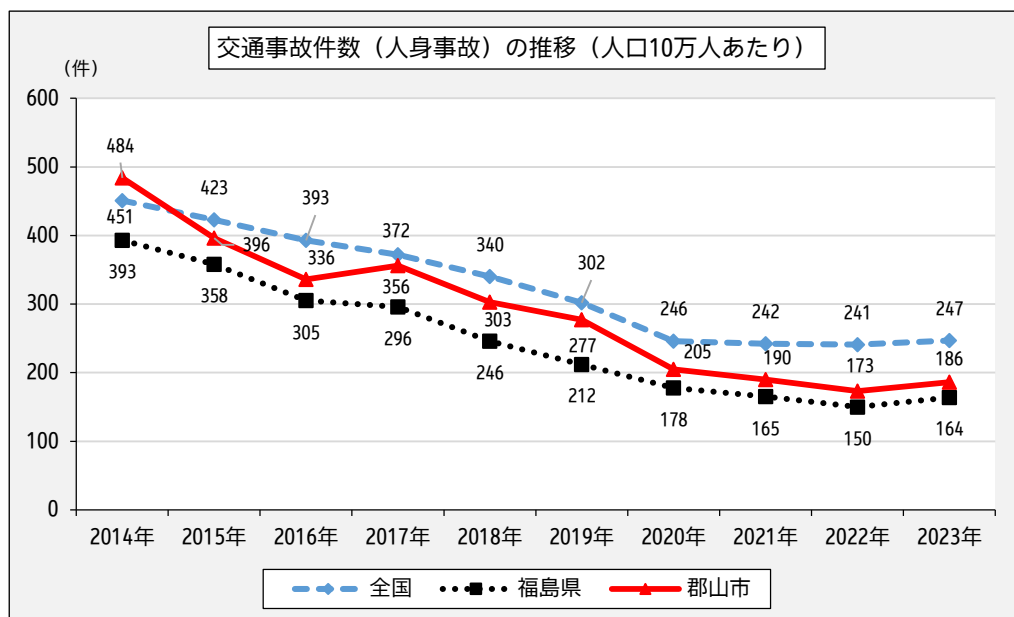
(備考)

「福島県の推計人口（各年4月1日現在）」（福島県企画調整部統計課）

分野1 交通安全

(1) 交通事故の発生状況推移（人口10万人あたり）

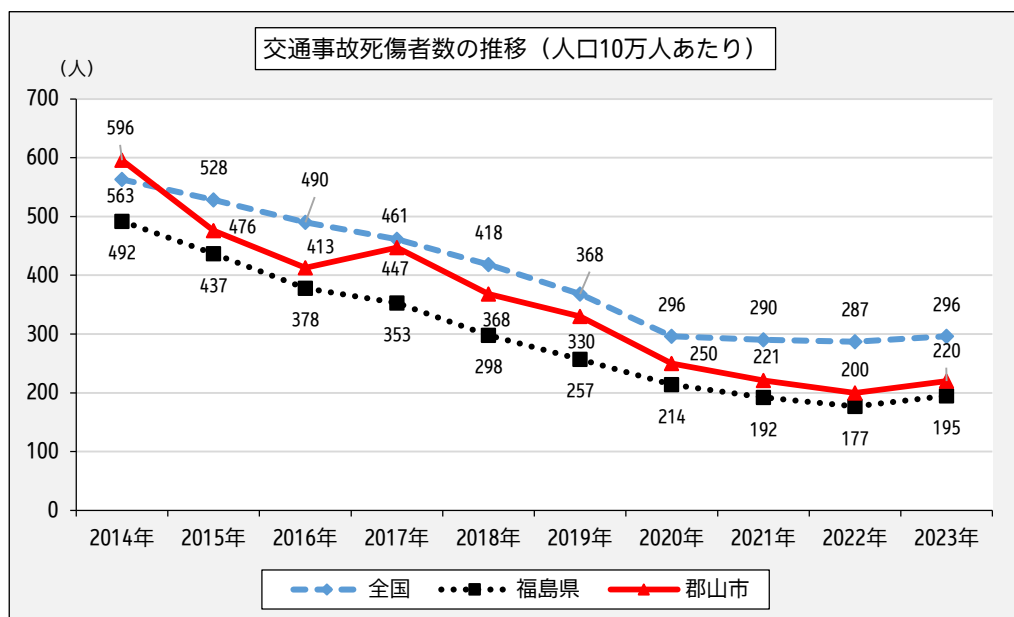
全体的に減少していたが、2023年はわずかに増加した。
郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。



- (備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成
2 2023年の福島県、郡山市の死傷者数は福島県生活環境部生活交通課からの情報提供
3 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(2) 交通事故による死傷者数推移（人口10万人あたり）

全体的に減少していたが、2023年はわずかに増加した。
郡山市は、2015年以降全国より下回っているが、県を上回った状態が続いている。

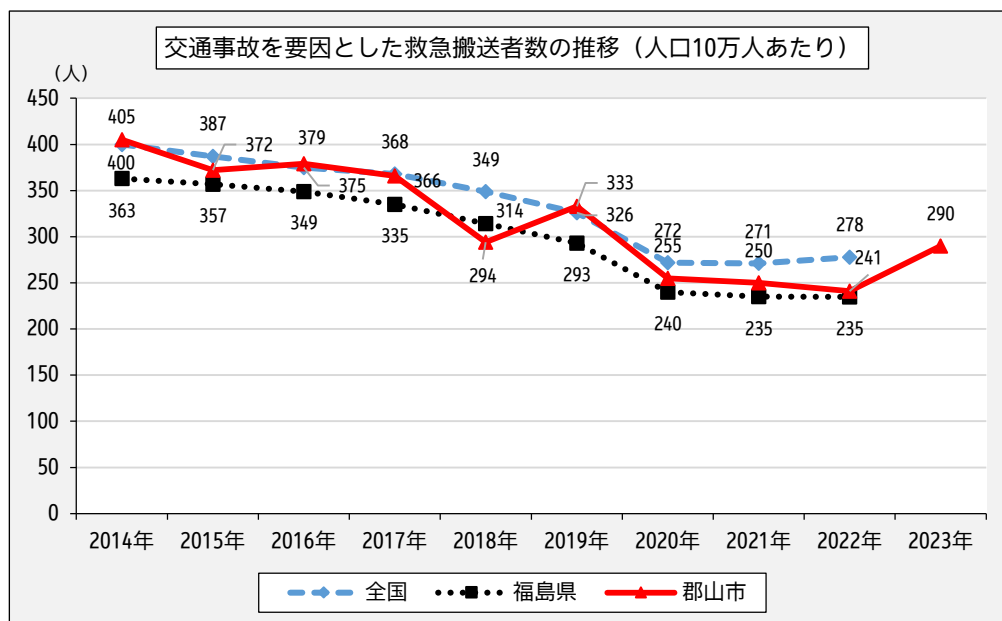


- (備考) 1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成
2 2023年の福島県、郡山市の死傷者数は福島県生活環境部生活交通課からの情報提供
3 算出に用いた人口はP. 5の表1による

分野1 交通安全

(3) 交通事故を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

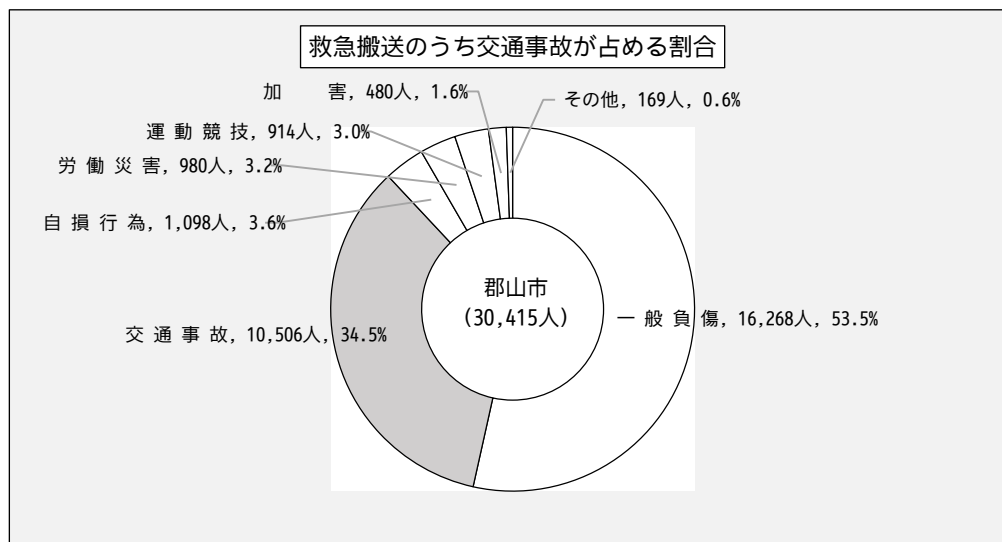
郡山市は2018年まで減少していたが、2019年は増加し、全国と県を上回った。2020年からは再び減少したが、2023年は増加となった。



(備考) 1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
2 算出に用いた人口はP.5の表1による

(4) 救急搬送要因のうち交通事故が占める割合（郡山市）（2014～2023年累計）

「交通事故」の34.5%は、「一般負傷」の53.5%に次ぐ割合を占めている。この2つで、病気以外の救急搬送のおよそ9割を占めている。

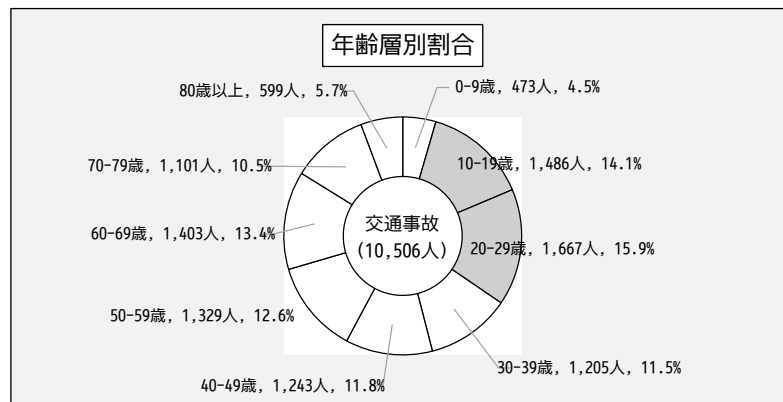


(備考) 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野1 交通安全

(5) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢層別割合(郡山市)(2014～2023年累計)

下記表を見ると、「10-19歳」「20-29歳」が人口割合に比べ、交通事故を要因とした救急搬送率が高い。



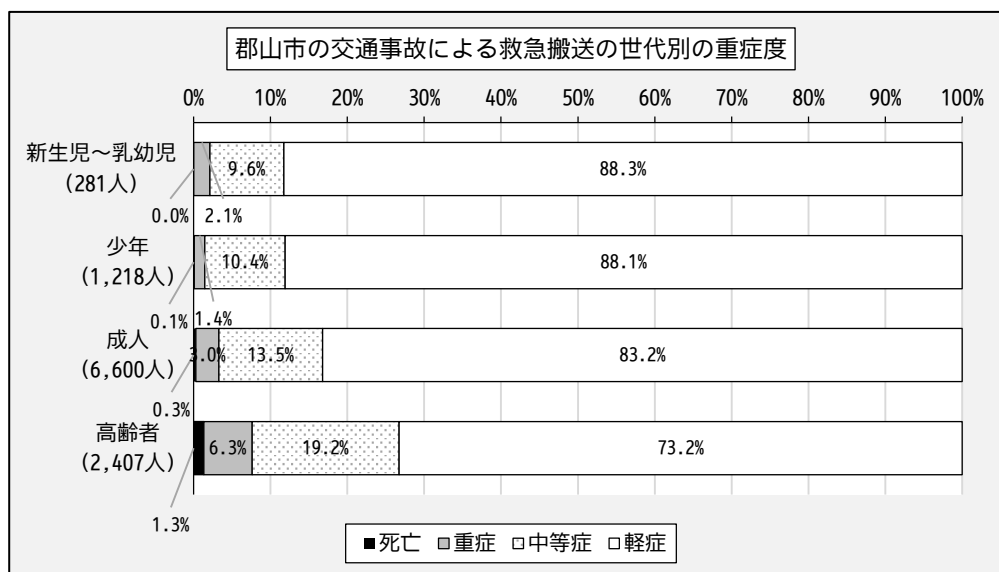
(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

年齢層	2024年人口割合(%)…①	年齢層別救急搬送率(%)…②	①-②
0-9歳	7.5	4.5	3
10-19歳	8.9	14.1	-5.2
20-29歳	9.7	15.9	-6.2
30-39歳	11.4	11.5	-0.1
40-49歳	13.9	11.8	2.1
50-59歳	13.9	12.6	1.3
60-69歳	13.2	13.4	-0.2
70-79歳	12.5	10.5	2
80歳以上	8.8	5.7	3.1

(備考) 人口割合はP.3「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」(郡山市政策統計課)を加工して作成

(6) 交通事故を要因とした救急搬送の年齢別重症度率(郡山市)(2014～2023年累計)

高齢者の重症度率は、「死亡」と「重症」を合わせると7.6%であり、成人の3.3%と比べると倍以上となっている。



(備考) 1 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

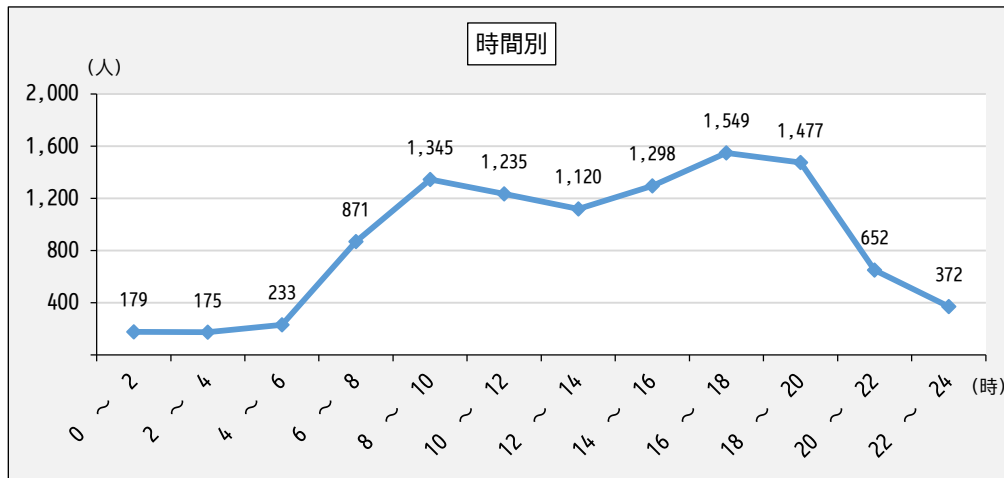
2 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合がある

分野１ 交通安全

(7) 交通事故を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014～2023年累計)

ア 時間別

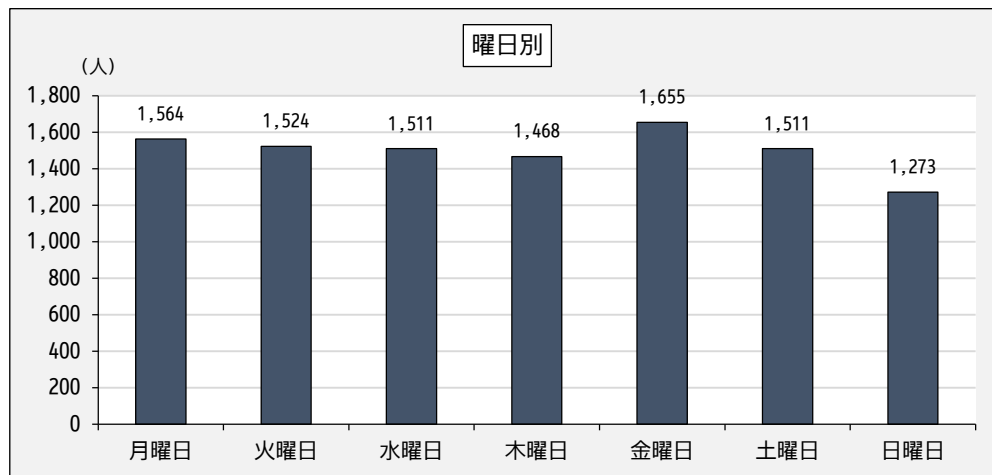
朝方(8～10時)と夕方(16～20時)の時間帯が多い。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

イ 曜日別

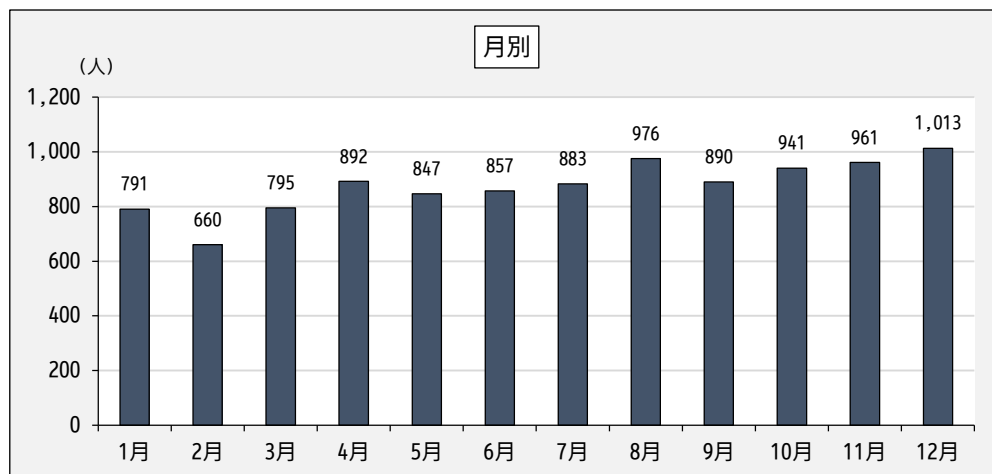
曜日別では、「金曜日」が1,655人で一番多く、「日曜日」が1,273人で一番少ない。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

ウ 月別

月別では、「12月」が1,013人で一番多く、「2月」が660人で一番少ない。



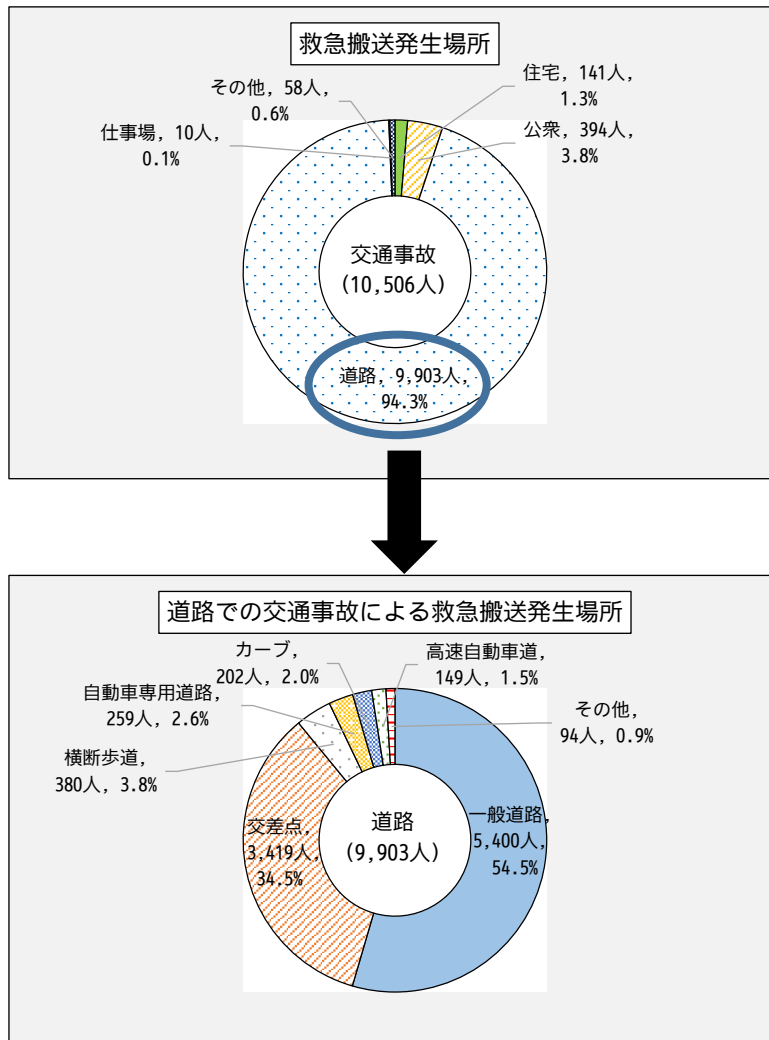
(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野1 交通安全

(8) 交通事故を要因とした救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

交通事故を要因として救急搬送発生場所は、「道路」が94.3%である。

「道路」の詳細を見ると「一般道路」が54.5%で一番多く、次いで「交差点」が34.5%、「横断歩道」が3.8%である。



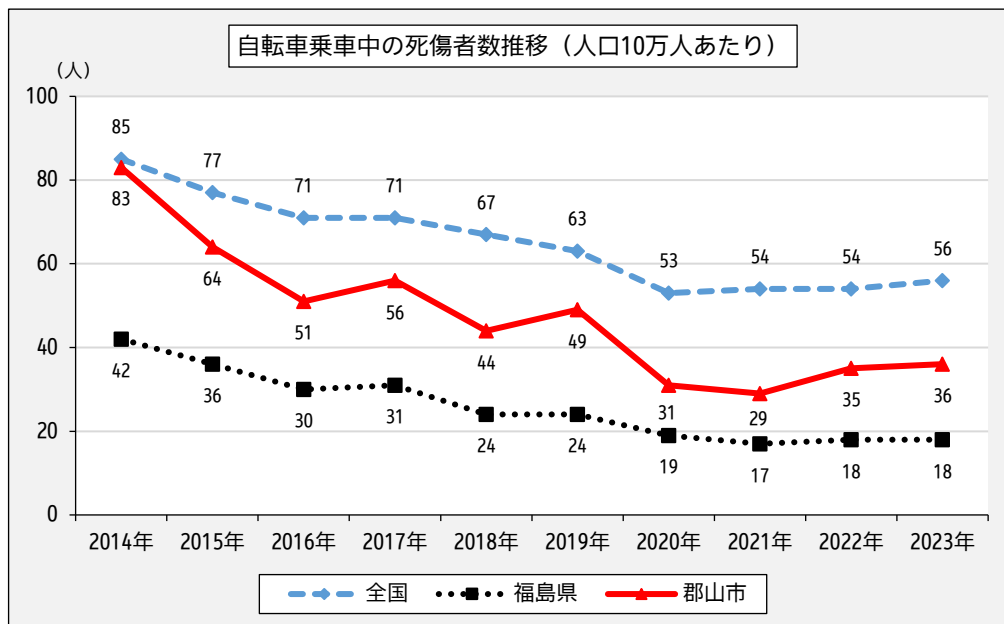
(備考) 1 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 救急搬送発生場所は発生場所大分類名、道路での内訳は発生場所中分類名による（参考P.50）

分野1 交通安全

(9) 自転車乗車中の死傷者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2021年まで減少していたが、2022年から増加した。
全国を下回っているが、県を上回った状態が続いている。

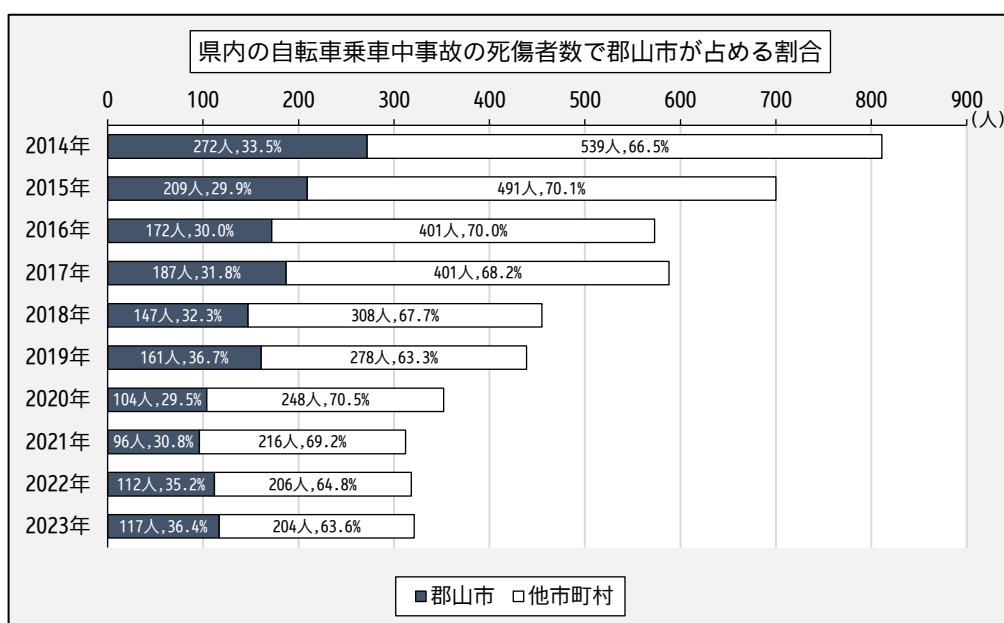


（備考）1 「警察白書」（警察庁）、「交通白書」（福島県警察本部）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(10) 県内の自転車乗車中事故の死傷者数で郡山市が占める割合

2023年の郡山の自転車乗車中事故の死傷者数は、県全体の36.4%を占めている。
2023年4月1日時点の県内における福島県の現住人口は1,773,723人、郡山市の現住人口は322,515人であり、県内における郡山市の人口割合は18.2%である。
なお、郡山市の自転車事故が多い理由として、高校生の近隣市町村からの通学が要因の一つと考えられる。



（備考）1 「交通白書」（福島県警察本部）、郡山警察署からの情報提供により作成

2 人口はP. 5の表1による

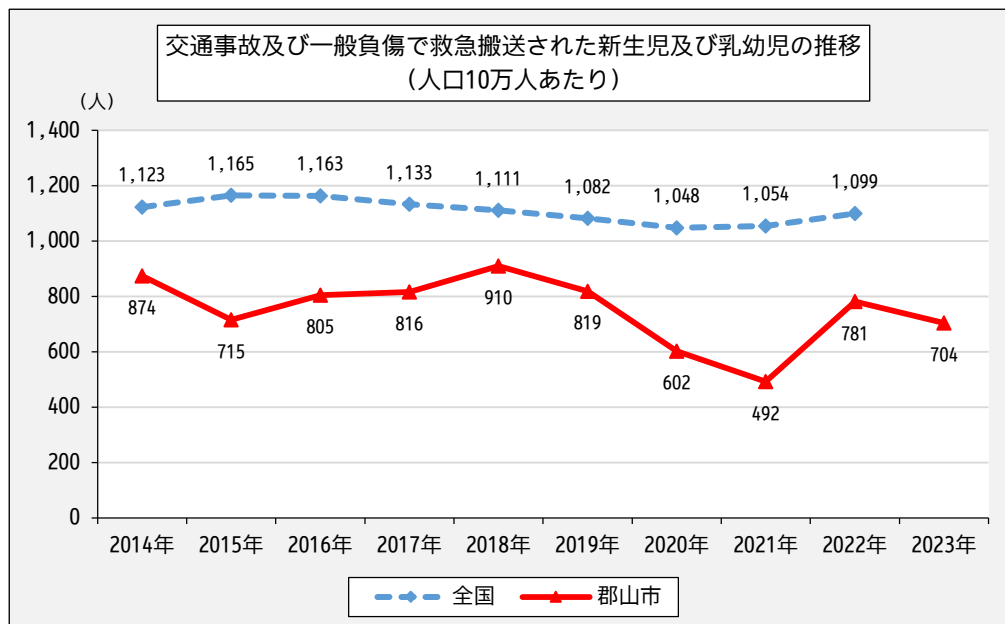
分野2 こどもの安全

<年齢区分>

新生児…生後28日未満の者 乳幼児…生後28日以上満7歳未満の者 少年…満7歳以上満18歳未満の者

(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された新生児～乳幼児の推移 (人口10万人あたり)

郡山市は増加や減少を繰り返す状況が続いているが、全国を下回っている。

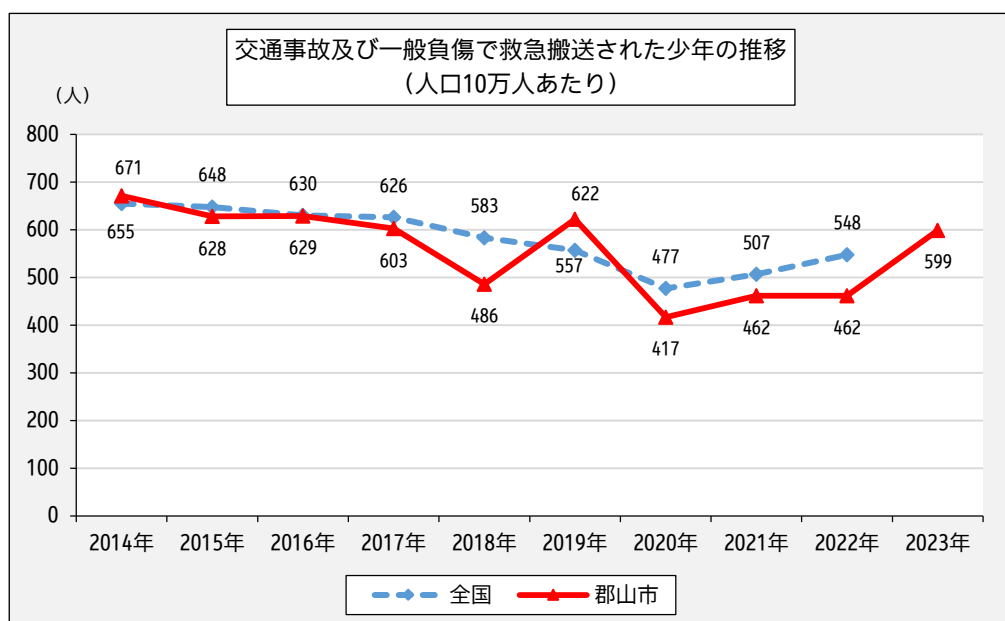


(備考) 1 「消防白書」(総務省消防庁)、「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表2による

(2) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された少年の推移 (人口10万人あたり)

郡山市は、2020年以降全国を下回っていたが、2023年は増加した。



(備考) 1 「消防白書」(総務省消防庁)、「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

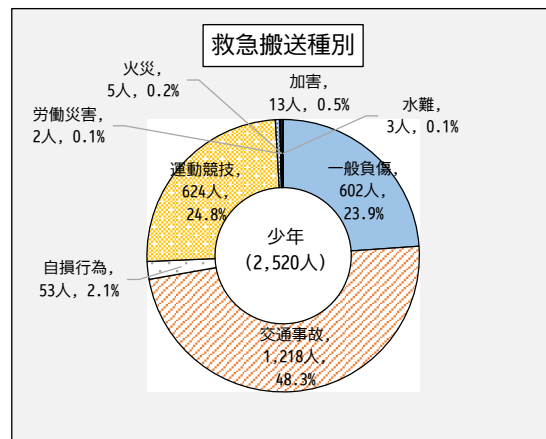
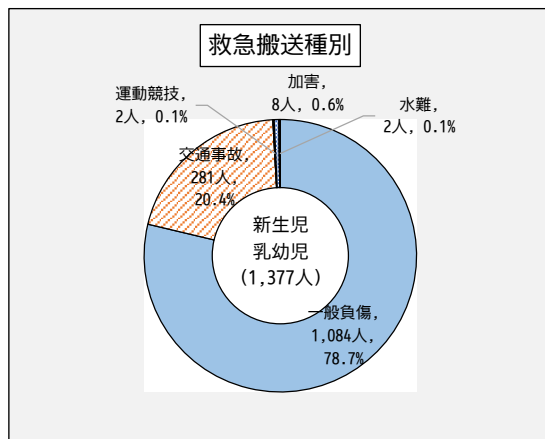
2 算出に用いた人口はP. 5の表2による

分野2 こどもの安全

(3) 救急搬送されたこどものけがや事故の種別（郡山市）（2014～2023年累計）

新生児～乳幼児は、「一般負傷」が一番多く78.7%となっている。

少年は、「交通事故」が48.3%で一番多く、次いで「運動競技」が24.8%、「一般負傷」が23.9%となっている。

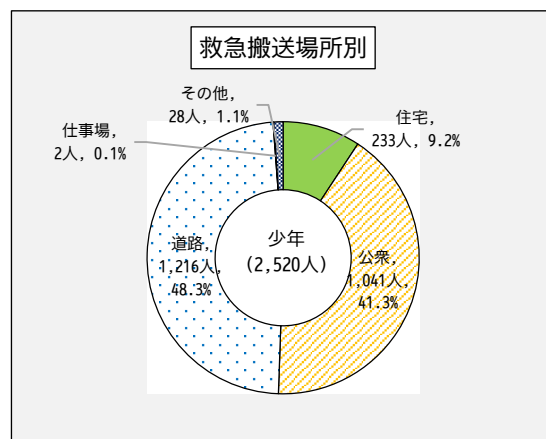
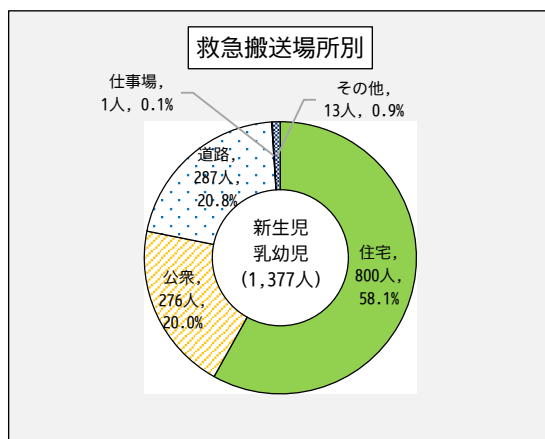


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(4) こどもの救急搬送場所（郡山市）（2014～2023年累計）

新生児～乳幼児は、「住宅」が58.1%で一番多く、次いで「道路」が20.8%、「公衆」が20.0%である。

少年は、「道路」が48.3%で一番多く、次いで「公衆」が41.3%、「住宅」が9.2%となっている。

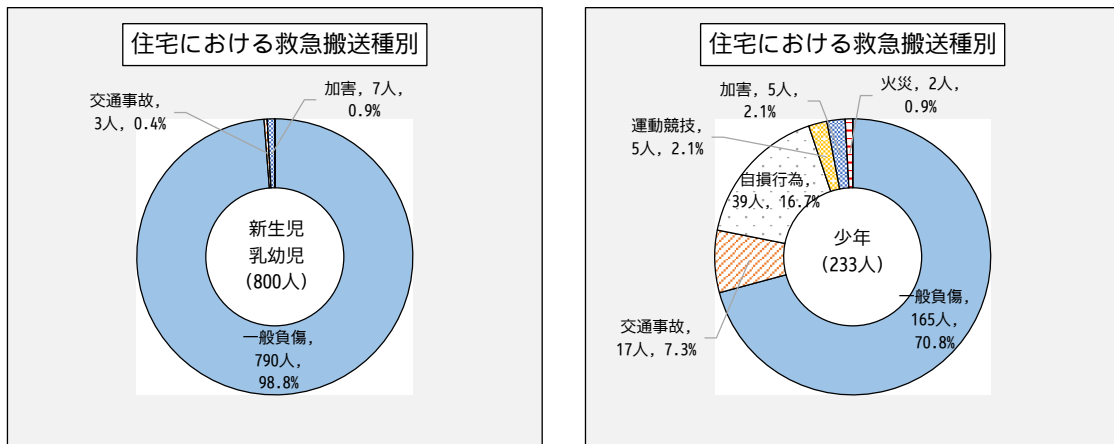


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野2 こどもの安全

(5) 住宅から救急搬送されたこどものけがや事故種別（郡山市）（2014～2023年累計）

新生児～乳幼児は、「一般負傷」が98.8%で一番多い。少年も「一般負傷」が70.8%で一番多く、次いで「自損行為」が16.7%となっている。

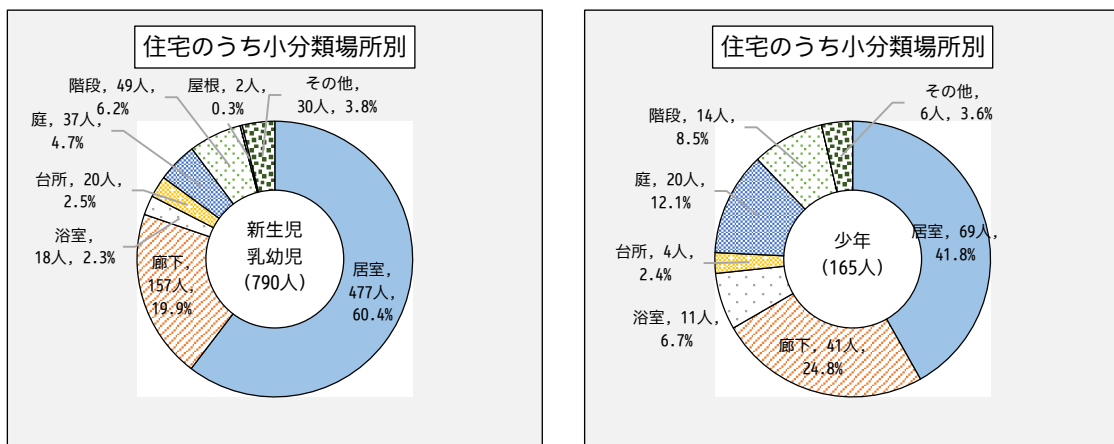


（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

(6) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送されたこどものけがや事故の小分類場所（郡山市）（2014～2023年累計）

新生児～乳幼児は、「居室」が60.4%で一番多く、次いで「廊下」が19.9%、「階段」が6.2%となっている。

少年は、「居室」が41.8%で一番多く、次いで「廊下」が24.8%、「庭」が12.1%となっている。

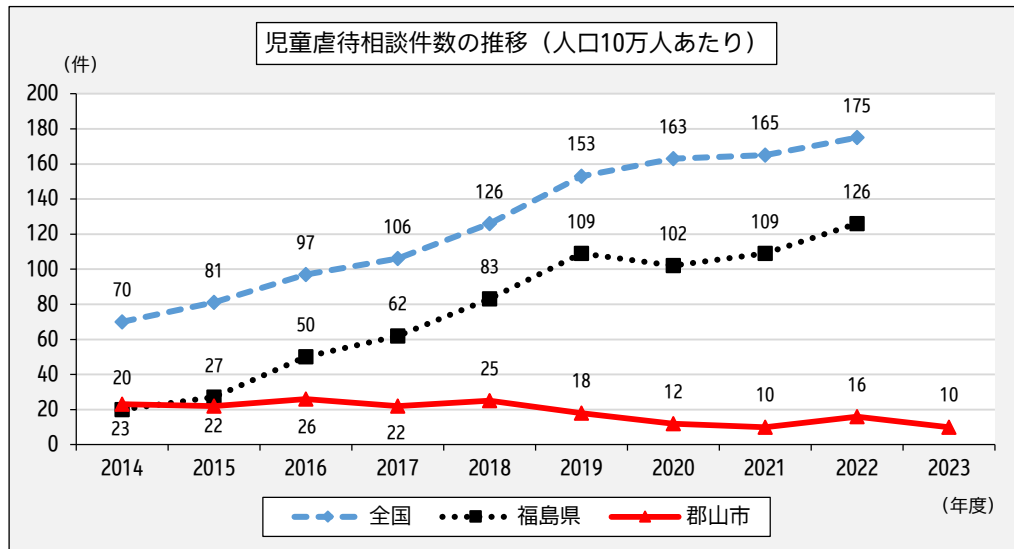


（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野2 こどもの安全

(7) 児童虐待の相談件数推移（人口10万人あたり）

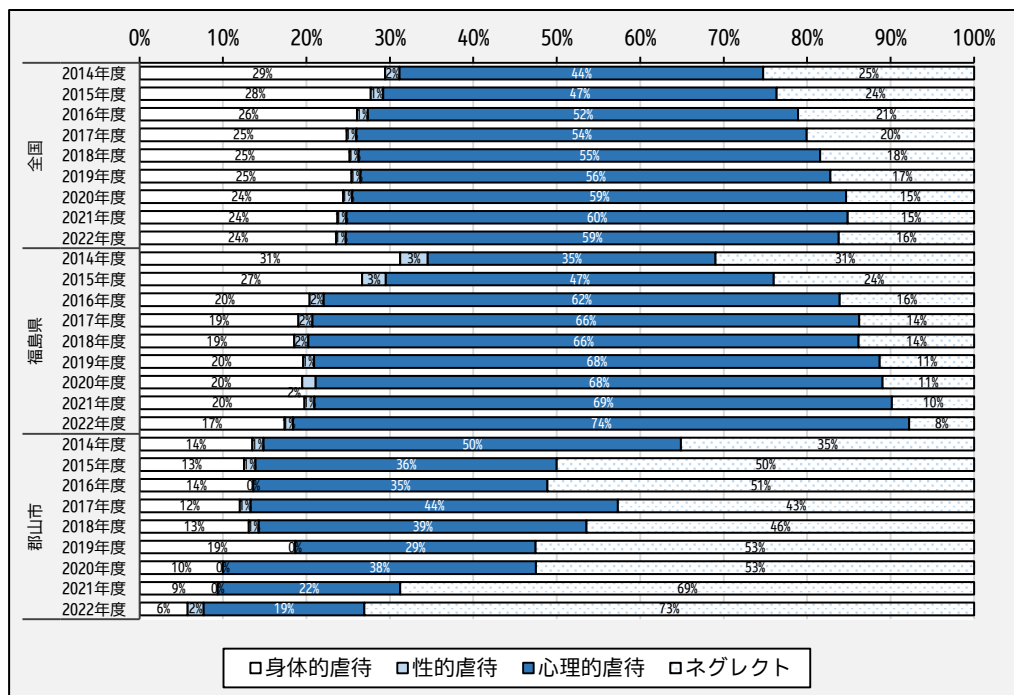
全国、県ともに増加しているが、郡山市は2020年以降横ばいとなっている。



(備考) 1 「児童相談所における児童虐待相談対応件数」（こども家庭庁）、
「相談等の取扱件数推移（相談実件数）」（郡山市こども家庭課）を加工して作成
2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(8) 児童虐待種別の各年の割合

全国及び県は、「心理的虐待」の割合が、年々大きくなっており、占める割合が一番大きい。
郡山市は、「ネグレクト」の占める割合が大きい。

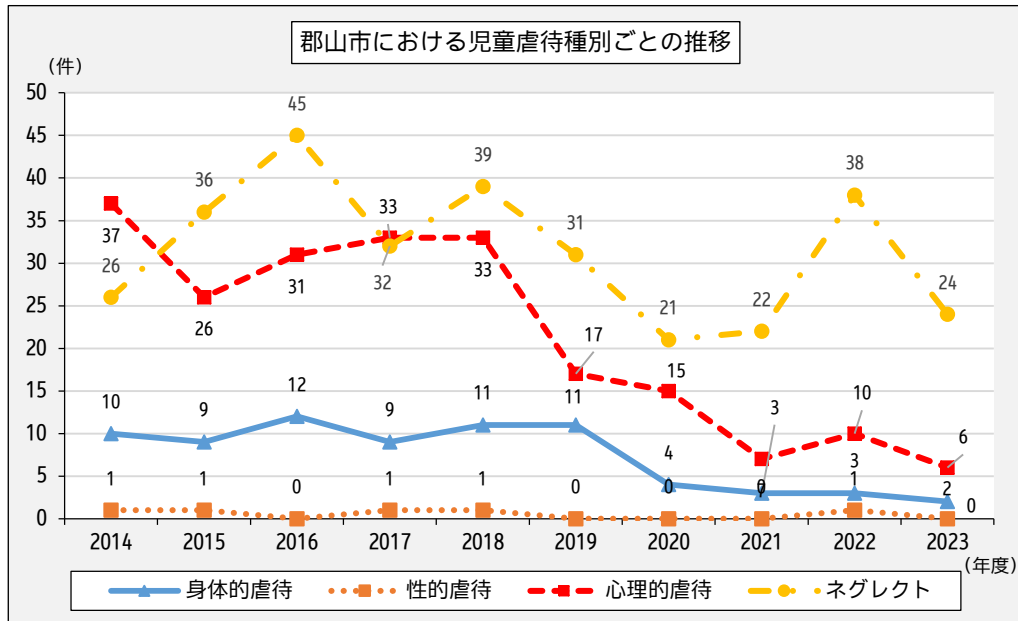


(備考) 「児童相談所における児童虐待相談対応件数」（こども家庭庁）、
「相談等の取扱件数推移（相談実件数）」（郡山市こども家庭課）を加工して作成

分野2 こどもの安全

(9) 児童虐待種別ごとの推移（郡山市）

「心理的虐待」と「ネグレクト」が常に多い状態で推移している。



(備考) 1 「相談等の取扱件数推移(相談実件数)」(郡山市こども家庭課)を加工して作成

2 虐待の分類(こども家庭庁ウェブサイトより引用)

- ・身体的虐待：殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる、首を絞める、縄などにより一室に拘束するなど
- ・性的虐待：こどもへの性的行為、性的行為を見せる、性器を触る又は触らせる、ポルノグラフィの被写体にするなど
- ・心理的虐待：言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、こどもの目の前で家族に対して暴力をふるう、きょうだいに虐待行為を行うなど
- ・ネグレクト：家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かないなど

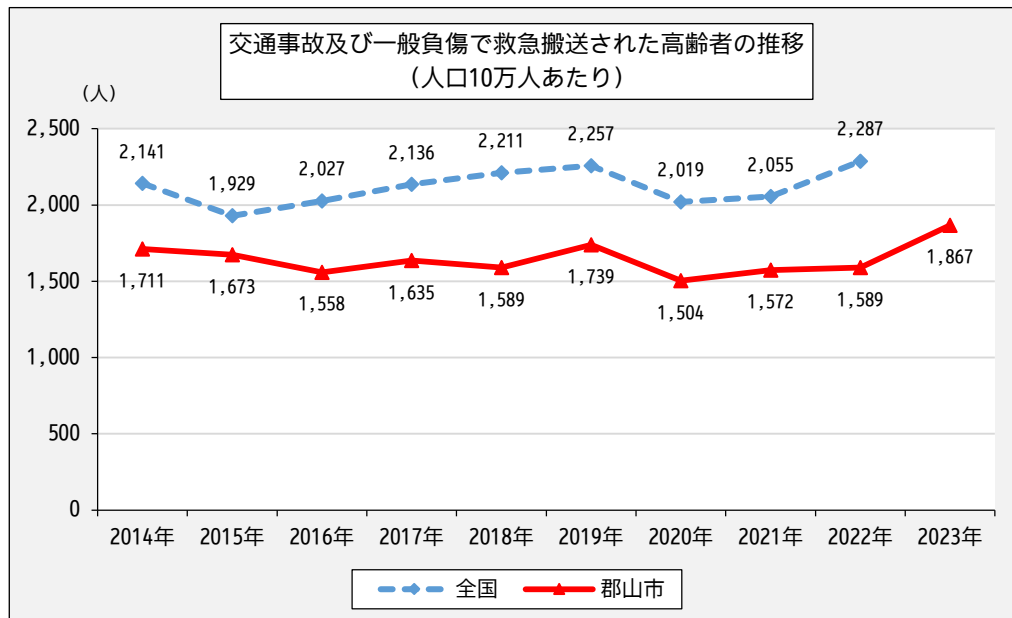
分野3 高齢者の安全

<年齢区分>

高齢者…満65歳以上の者

(1) 全国・市の交通事故及び一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の推移 (人口10万人あたり)

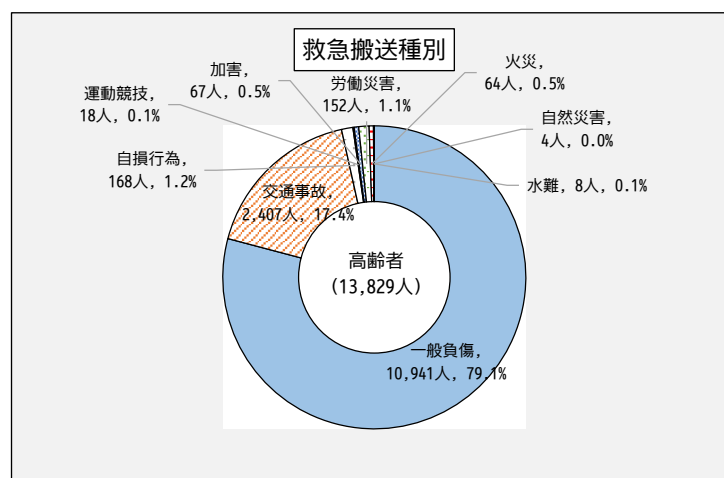
郡山市は、全国を下回り、2022年までは横ばいで推移していたが、2023年は増加した。



(備考) 1 「消防白書」(総務省消防庁)、「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成
2 算出に用いた人口はP. 5の表2による

(2) 救急搬送された高齢者のけがや事故の種別(郡山市)(2014～2023年累計)

「一般負傷」が一番多く79.1%を占め、次いで「交通事故」が17.4%である。

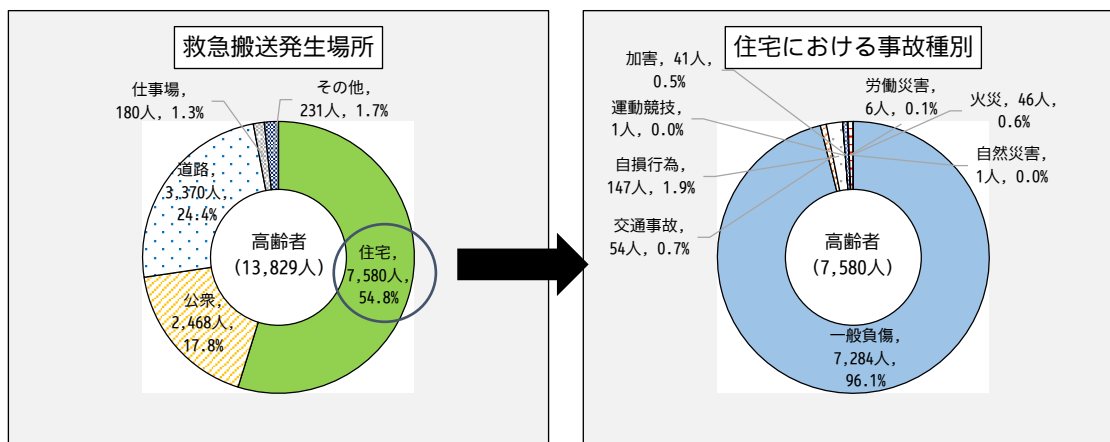


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(3) 高齢者のけがや事故による救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

約5割は「住宅」である。「住宅」の事故種別は「一般負傷」が9割以上を占める。

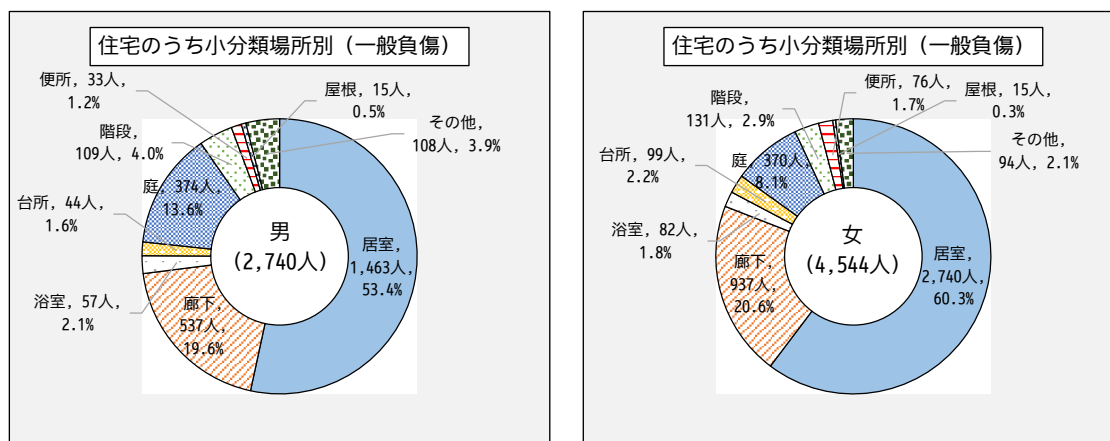


（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

※全体の54.8%を占める「住宅」で起きるけがの種類の内訳は、右のグラフのとおり

(4) 住宅から一般負傷を要因に救急搬送された高齢者の男女別発生場所小分類（郡山市）（2014～2023年累計）

男女ともに「居室」が一番多く、男が53.4%、女が60.3%となっている。
次いで、「廊下」で男が19.6%、女が20.6%となっている。

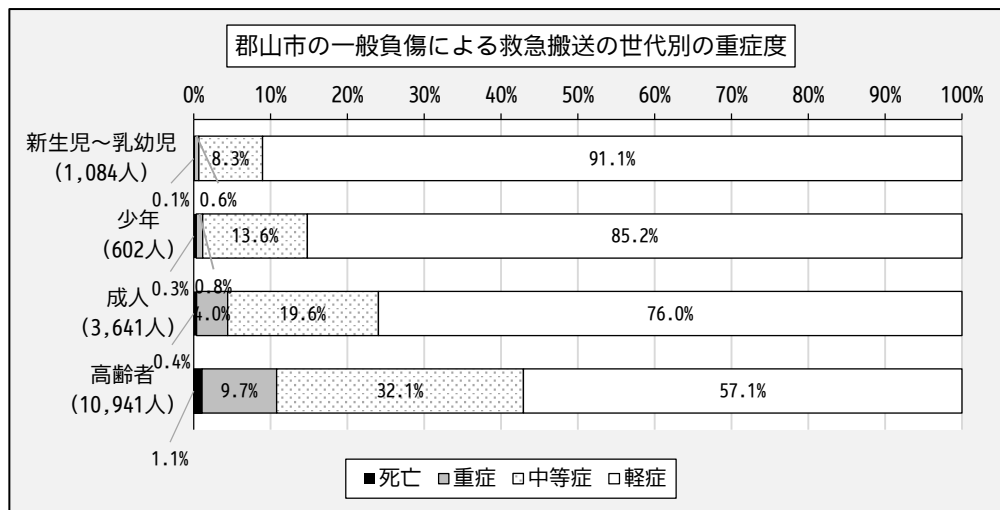


（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(5) 一般負傷を要因とした救急搬送の年齢別重症度率（郡山市）（2014～2023年累計）

高齢者の重症度率は、「死亡」と「重症」を合わせると10.8%であり、成人の4.4%と比べると倍以上となっている。

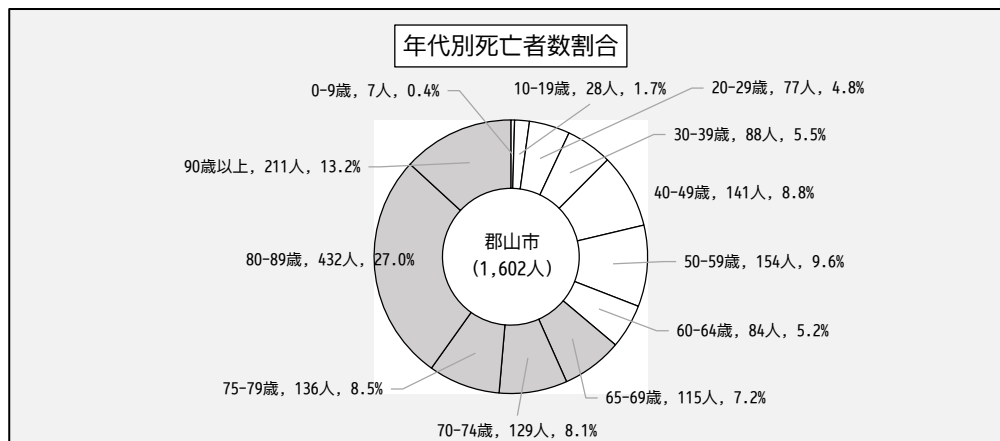


（備考） 1 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある

(6) 傷病及びその他の外因による年代別死亡者数（郡山市）（2014～2022年累計）

65歳以上が6割以上を占める。



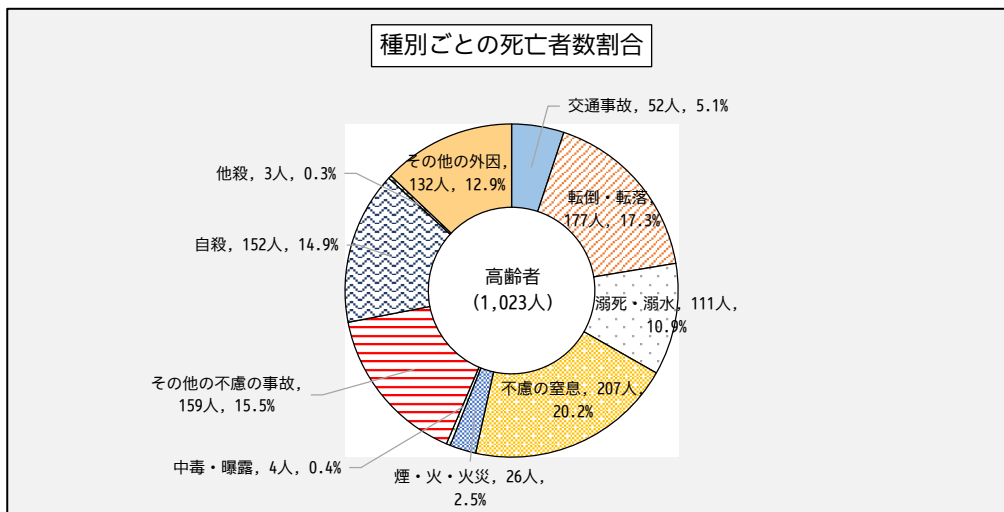
（備考） 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

年齢層	2024年人口割合(%)…①	年齢層別死亡割合(%)…②	①－②
0-9歳	7.5	0.4	7.1
10-19歳	8.9	1.7	7.2
20-29歳	9.7	4.8	4.9
30-39歳	11.4	5.5	5.9
40-49歳	13.9	8.8	5.1
50-59歳	13.9	9.6	4.3
60-64歳	6.5	5.2	1.3
65-69歳	6.7	7.2	-0.5
70-74歳	7.2	8.1	-0.9
75-79歳	5.4	8.5	-3.1
80-89歳	6.8	27	-20.2
90歳以上	2	13.2	-11.2

分野3 高齢者の安全

(7) 高齢者のけがや事故による種別ごとの死亡者数（郡山市）（2014～2022年累計）

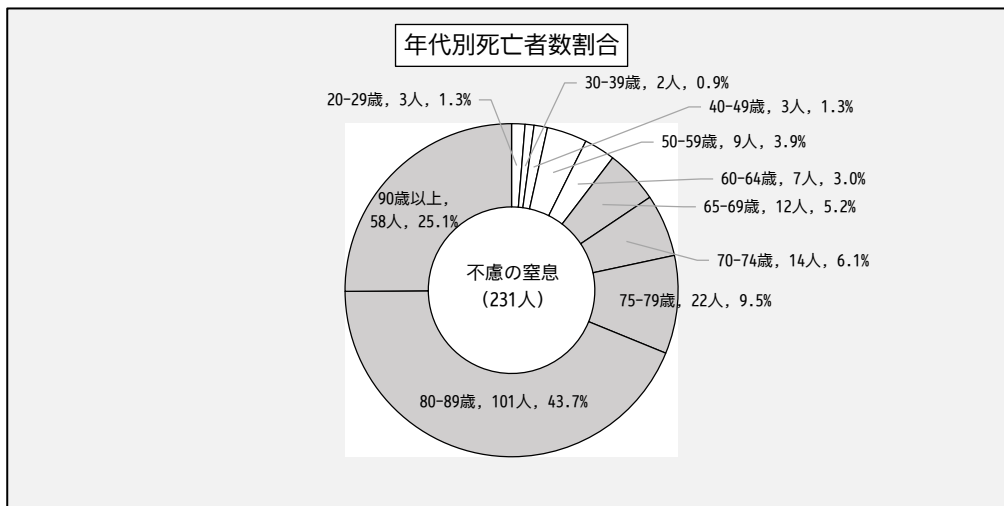
「不慮の窒息」が一番多く20.2%となっており、次いで「転倒・転落」が17.3%となっている。



（備考） 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

(8) 窒息による年代別死亡者数の割合（郡山市）（2014～2022年累計）

「80-89歳」が43.7%で一番多く、次いで「90歳以上」が25.1%となっている。高齢者（65歳以上）が約9割を占める。

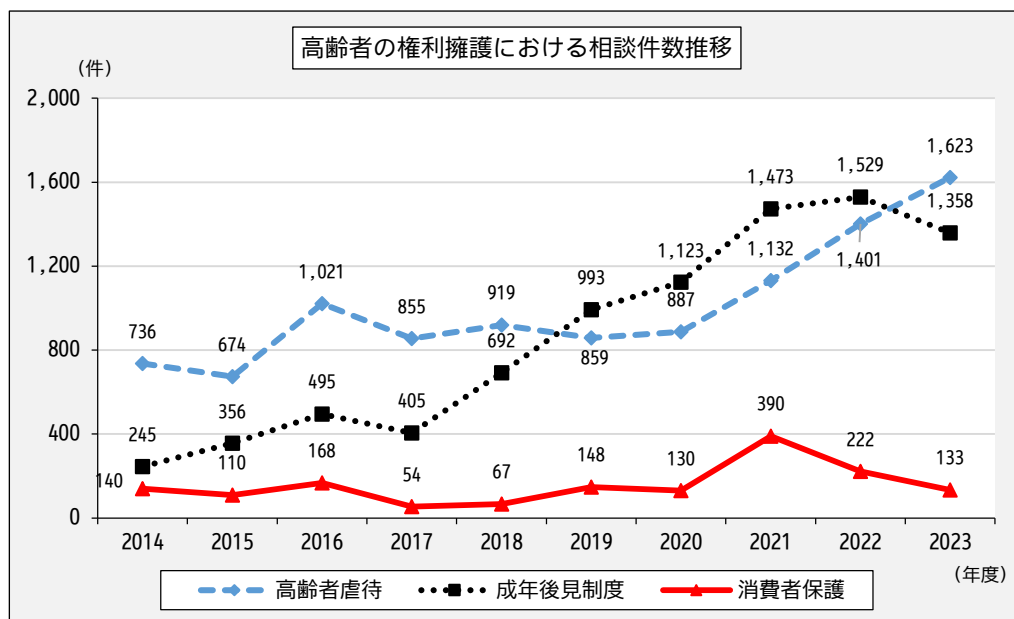


（備考） 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

分野3 高齢者の安全

(9) 高齢者の権利擁護における相談件数推移（郡山市）

「高齢者虐待」は2016年度に増加し、それ以降は横ばいで推移していたが、2020年度以降増加している。

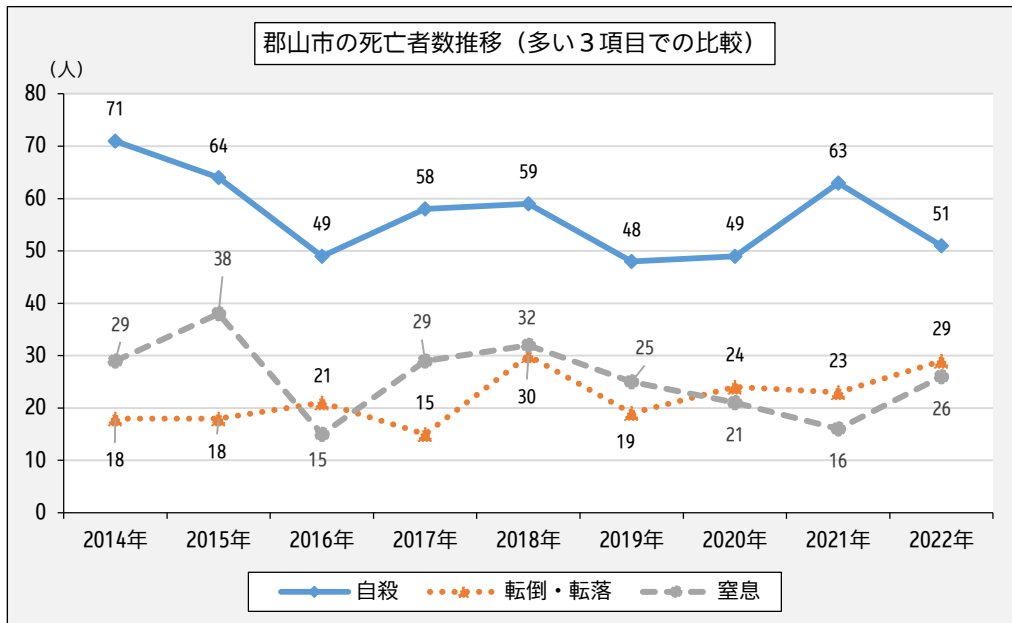


(備考) 「センター別包括的支援事業の実施状況」（郡山市地域包括ケア推進課）を加工して作成

分野4 自殺予防

(1) 傷病及びその他外因ごとの死亡者数推移（郡山市） （2022年における死亡者数が多い3項目での比較）

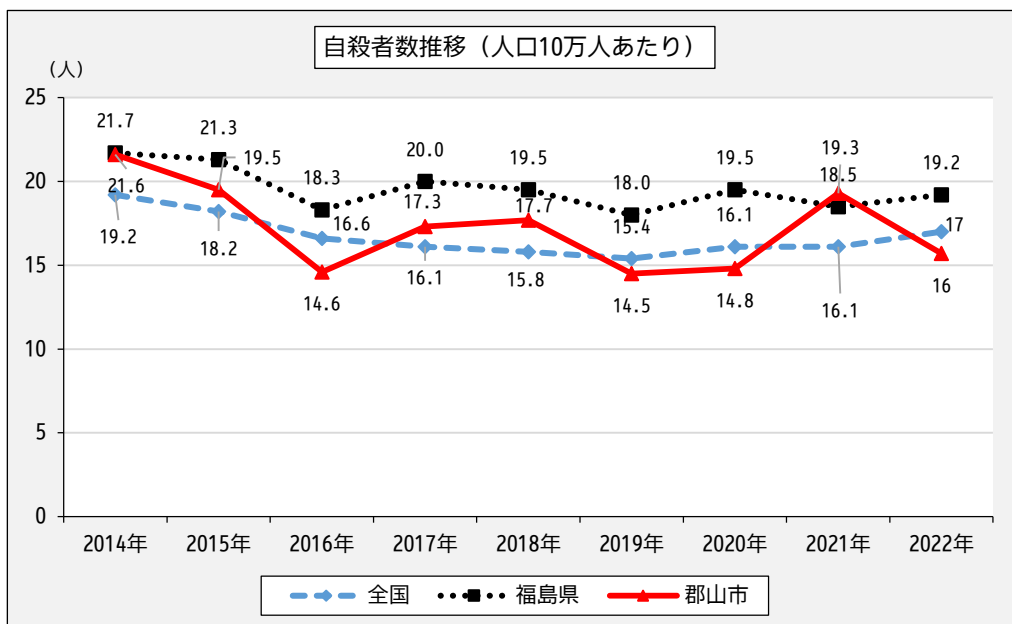
病気を除く死因では、「自殺」が常に一番多い。2022年は次いで「転倒・転落」、「窒息」となっている。



（備考） 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

(2) 自殺者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は2014年以降、増減を繰り返している。2021年は全国、福島県を上回ったが、2022年は再び減少した。



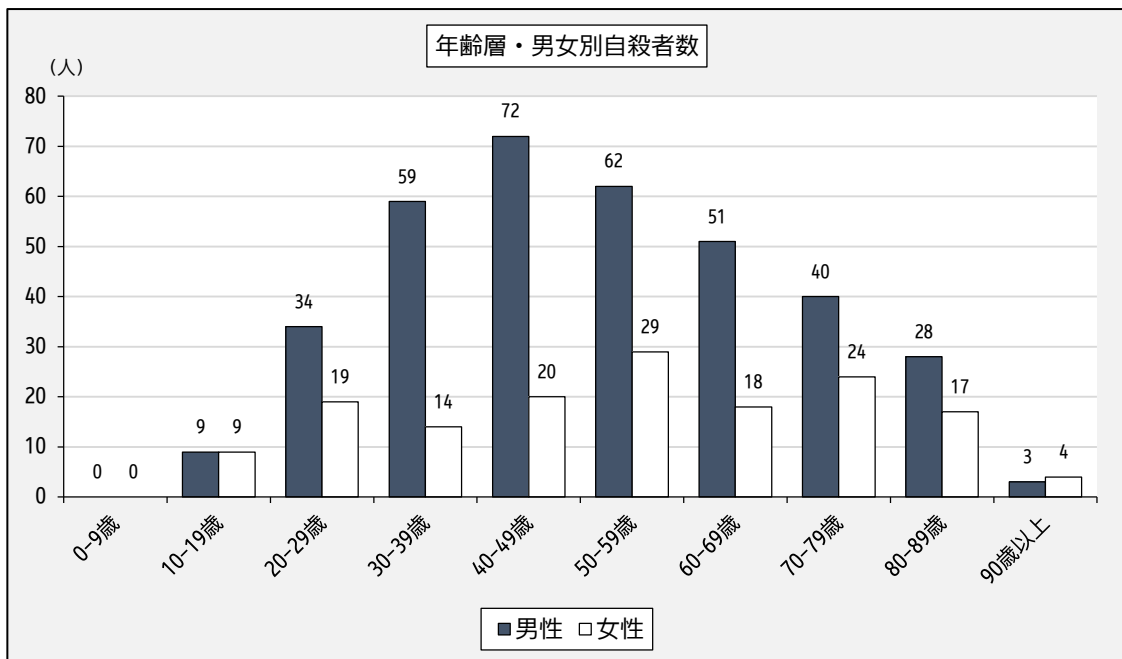
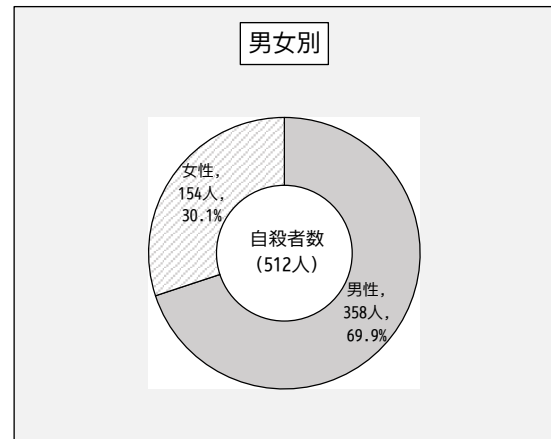
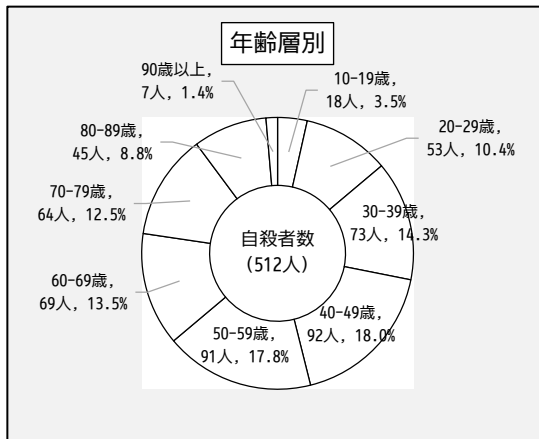
（備考） 1 「人口動態統計」（厚生労働省）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

分野4 自殺予防

(3) 年齢層別・男女別自殺者数(郡山市) (2014～2022年累計)

年齢層では、「40-49歳」が18.0%で一番多く、次いで「50-59歳」が17.8%、「30-39歳」が14.3%となっている。男女別では、男性が女性より2倍以上多い。
また、年齢別男女別でみると40代の男性の自殺が多い。

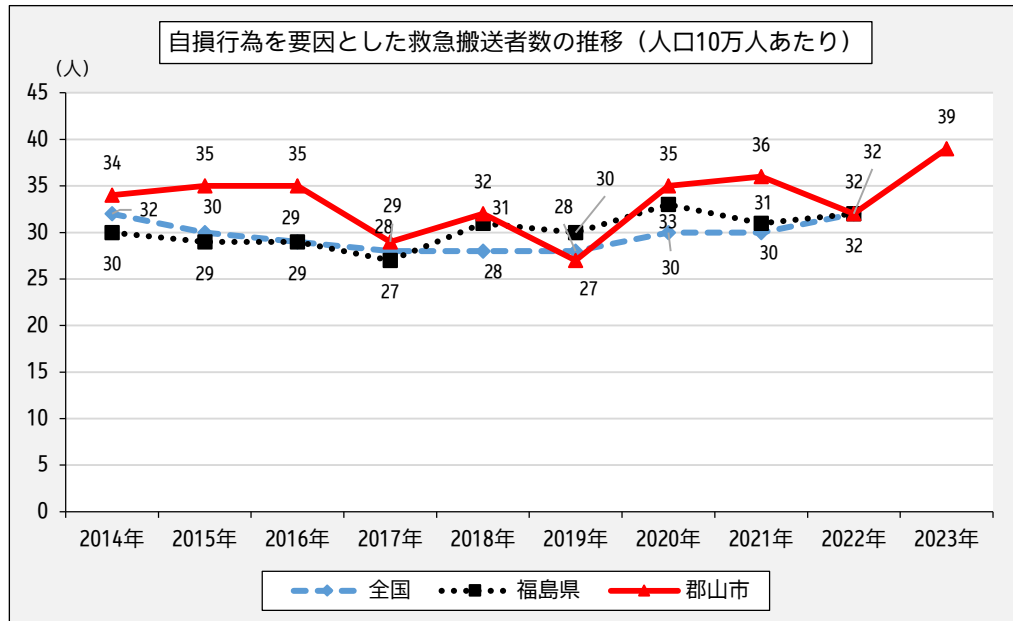


(備考) 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

分野4 自殺予防

(4) 自損行為を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2014年以降増減を繰り返している。2022年は減少したものの、2023年は増加した。

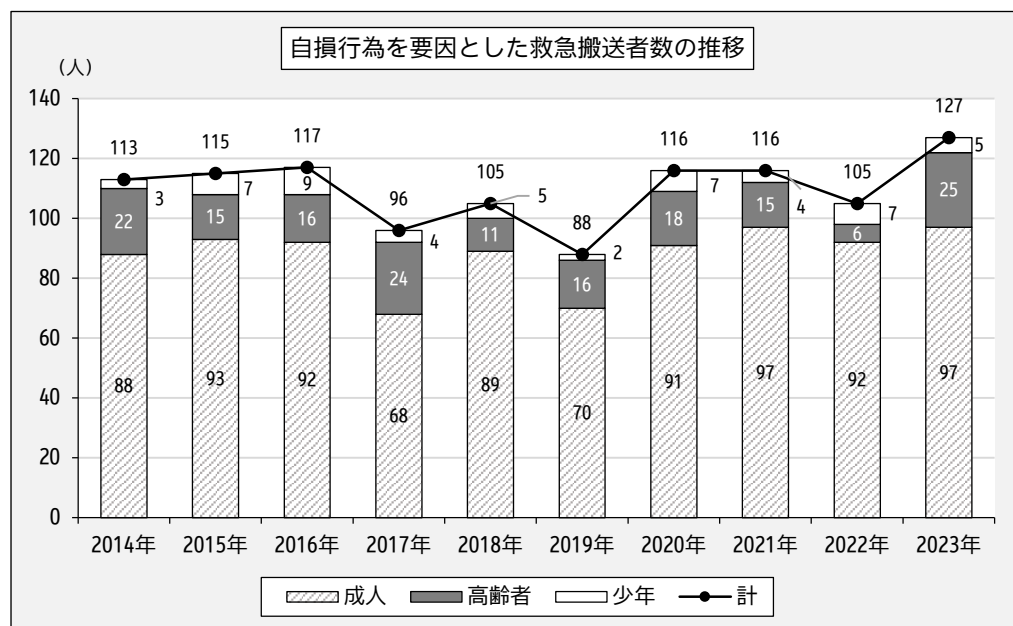


（備考）1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(5) 自損行為を要因とした年齢階層別救急搬送者数推移（郡山市）

成人が7割以上を占めている。



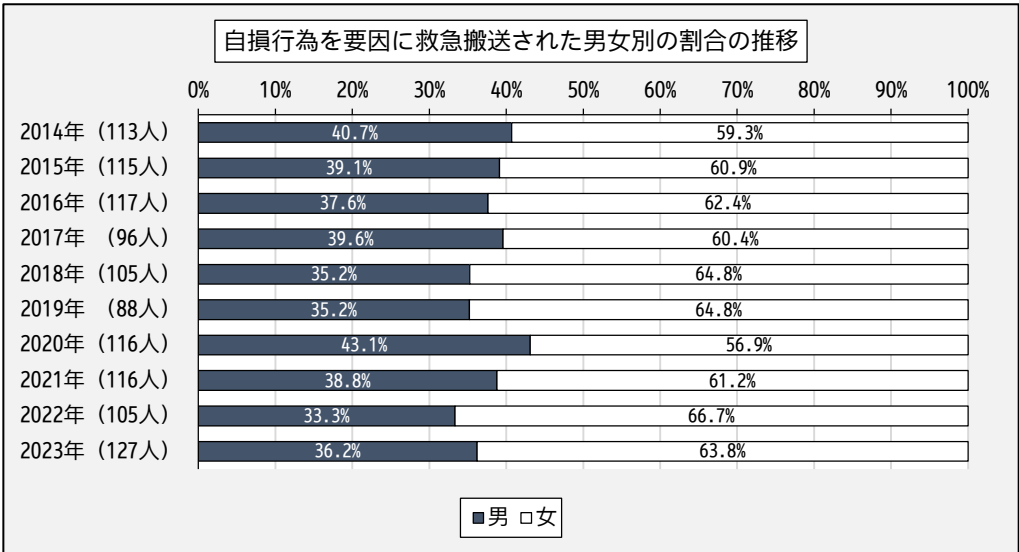
（備考）1 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 年齢区分 少年…満7歳以上満18歳未満の者、成人…満18歳以上満65歳未満の者、高齢者…満65歳以上の者

分野4 自殺予防

(6) 自損行為を要因に救急搬送された男女別の割合の推移（郡山市）

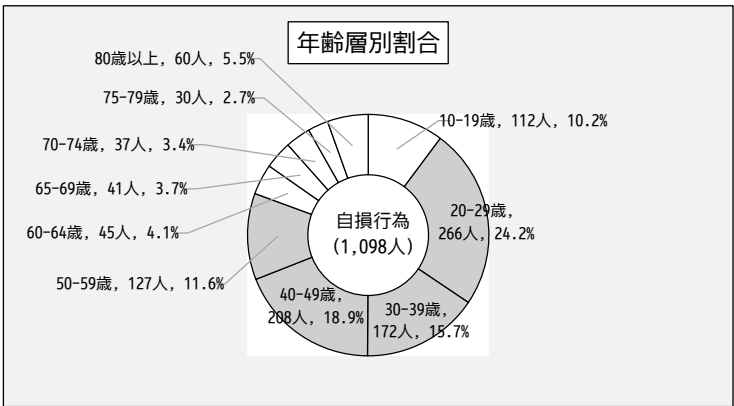
いずれの年においても、女性の割合が高い。



(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

(7) 自損行為を要因に救急搬送された年齢層別割合（郡山市）（2014～2023年累計）

一番多い年代は「20-29歳」で24.2%となっており、次いで「40-49歳」が18.9%、「30-39歳」が15.7%となっている。20-50代で約7割を占めている。
人口割合と比較しても、10-40代は人口構成率に比べ自損行為により救急搬送された者の割合が大きい。



(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

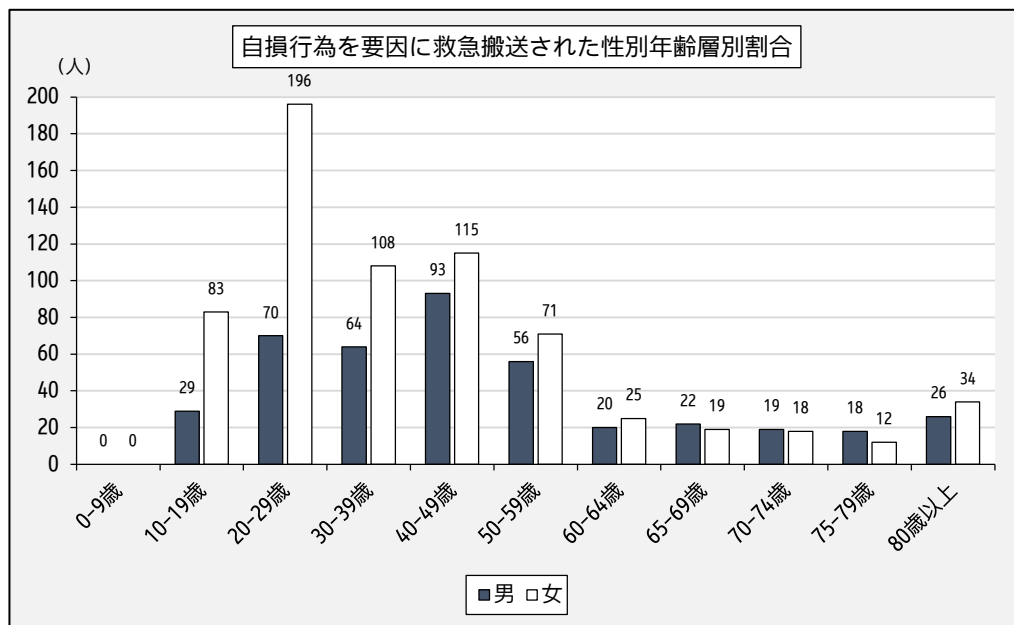
年齢層	2024年人口割合(%)…①	年齢層別自損行為割合(%)…②	①－②
0-9歳	7.5	0	7.5
10-19歳	8.9	10.2	-1.3
20-29歳	9.7	24.2	-14.5
30-39歳	11.4	15.7	-4.3
40-49歳	13.9	18.9	-5
50-59歳	13.9	11.6	2.3
60-64歳	6.5	4.1	2.4
65-69歳	6.7	3.7	3
70-74歳	7.2	3.4	3.8
75-79歳	5.4	2.7	2.7
80歳以上	8.8	5.5	3.3

(備考) 人口割合はP.3「住民基本台帳に基づく郡山市の地区別年齢別人口」（郡山市政策統計課）を加工して作成

分野4 自殺予防

(8) 自損行為を要因に救急搬送された性別年齢層別割合(郡山市) (2014～2023年累計)

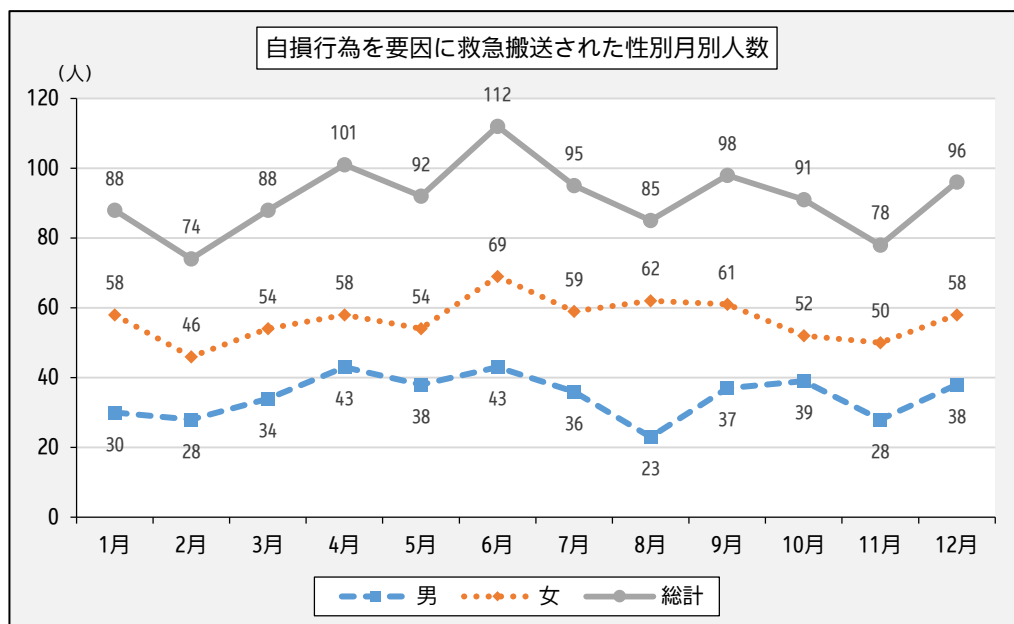
性別年齢層別では、女性は「20-29歳」が196人で一番多く、次いで「40-49歳」が115人、「30-39歳」が108人となっており、20代の女性の自損行為が多い。
また、男性は、「40-49歳」が93人で一番多く、次いで「20-29歳」が70人、「30-39歳」が64人となっており、働き世代の自損行為が多いことがわかる。



(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(9) 自損行為を要因に救急搬送された月別人数(郡山市) (2014～2023年累計)

男性は、「4月」「6月」が43人で一番多く、次いで「10月」が39人となっている。
女性は、「6月」が69人で一番多く、次いで「8月」が62人となっている。
男女ともに多い月は「6月」である。

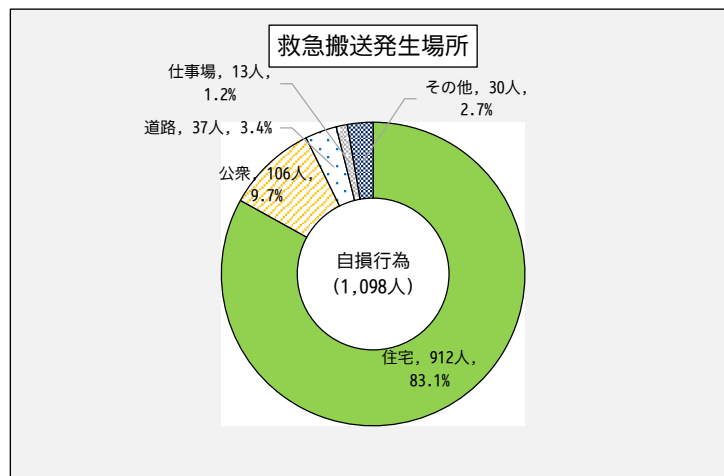


(備考) 「救急搬送データ(詳細版)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野4 自殺予防

(10) 自損行為の救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

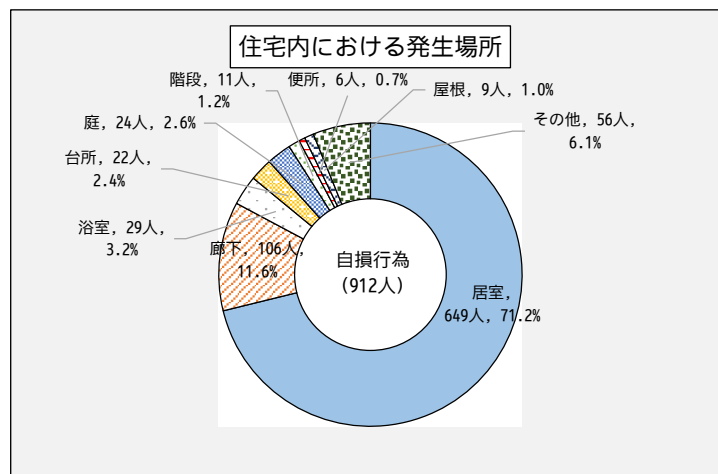
「住宅」が一番多く83.1%となっている。次いで「公衆」が9.7%、「道路」が3.4%となっている。



（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

(11) 自損行為の住宅内での救急搬送発生場所（郡山市）（2014～2023年累計）

「居室」が71.2%で一番多く、次いで「廊下」が11.6%、「その他」が6.1%となっている。



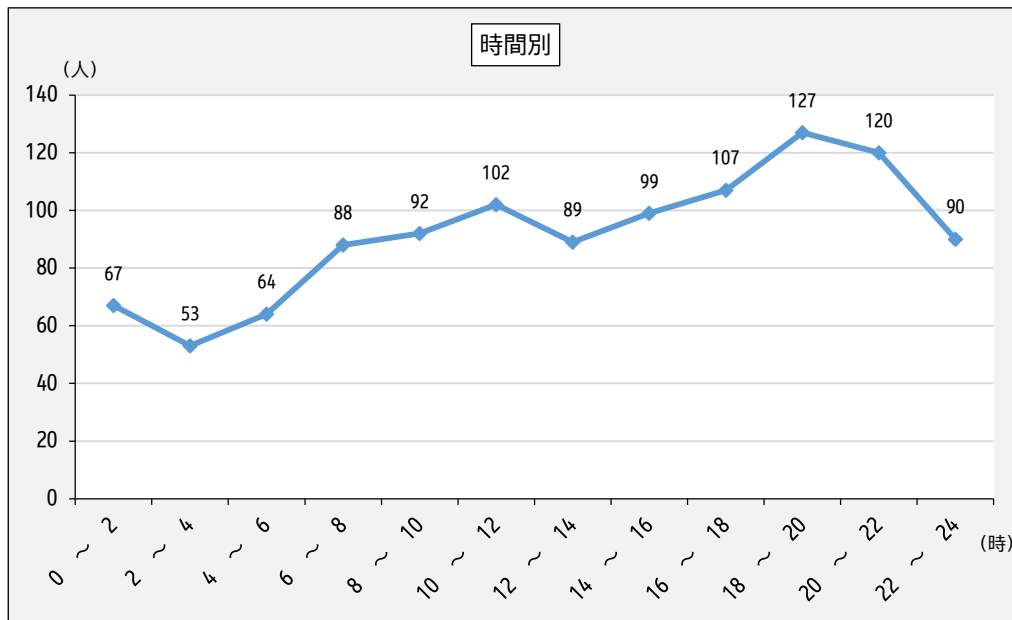
（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野4 自殺予防

(12) 自損行為を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市） （2014～2023年累計）

ア 時間別

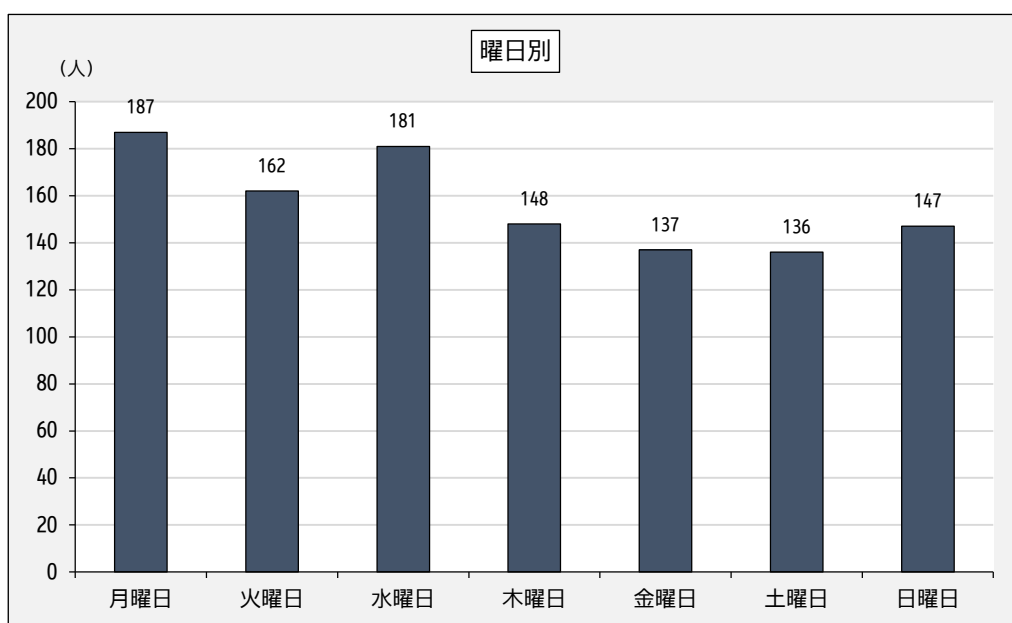
「18～20時台」が127人で一番多く、次いで「20～22時台」が120人、「16～18時台」が107人となっている。



（備考） 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

イ 曜日別

「月曜日」が187人で一番多く、次いで「水曜日」が181人、「火曜日」が162人となっている。

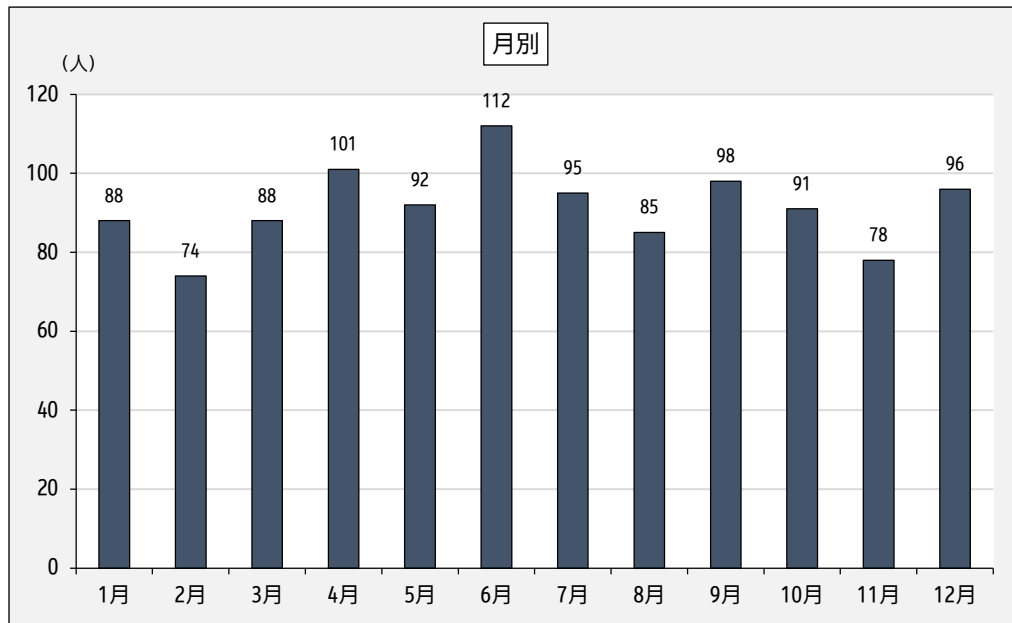


（備考） 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野4 自殺予防

ウ 月別

「6月」が112人で一番多く、次いで「4月」が101人、「9月」が98人となっている。

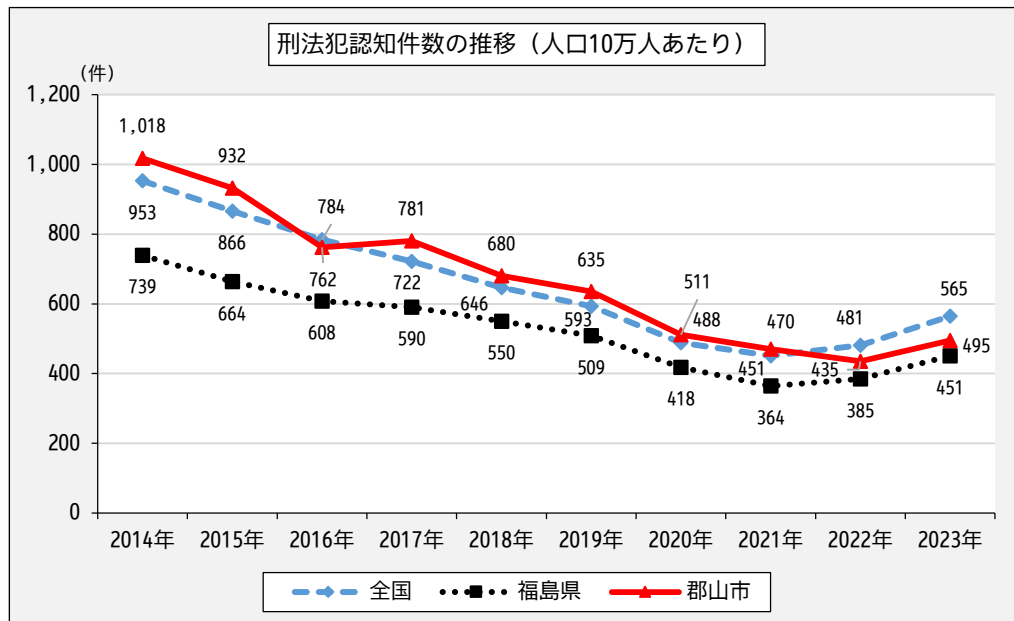


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野5 防犯

(1) 刑法犯認知件数の推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2014年以降減少していたが、2023年は増加した。

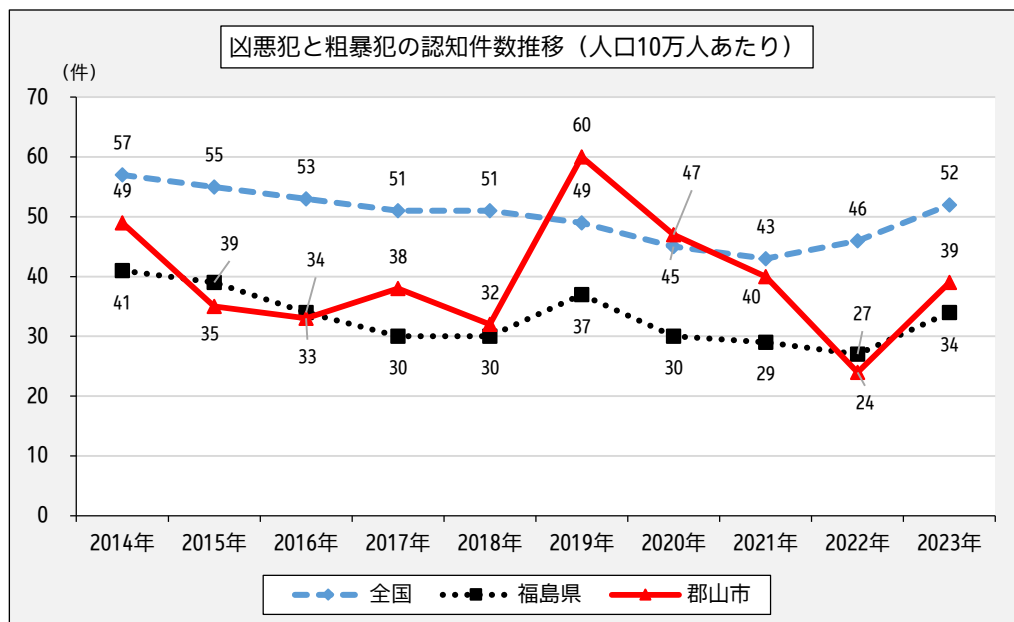


（備考）1 「警察白書」（警察庁）、「地域安全白書」（郡山警察署・郡山北警察署）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

(2) 凶悪及び粗暴犯認知件数合計の推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2019年に全国及び県を上回り、その後減少したが、2023年は増加した。



（備考）1 「警察白書」（警察庁）、「地域安全白書」（郡山警察署・郡山北警察署）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

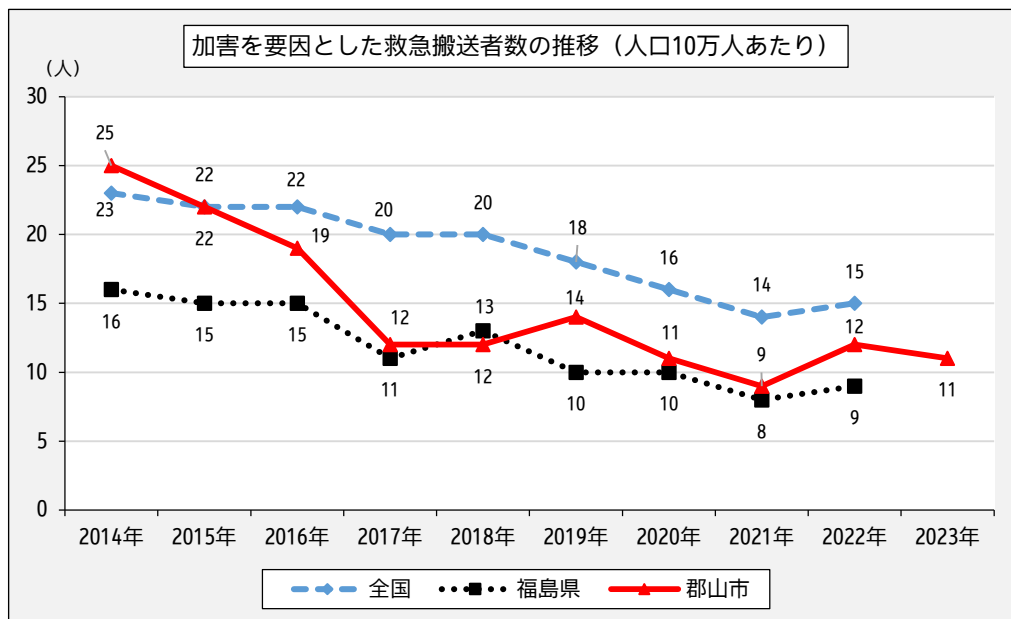
3 「警察白書」（警視庁）より引用

- ・凶悪犯…殺人、強盗、放火及び不同意性交等をいう。
- ・粗暴犯…暴行、傷害、脅迫、恐喝及び凶器準備集合をいう。

分野5 防犯

(3) 加害を要因とした救急搬送推移（人口10万人あたり）

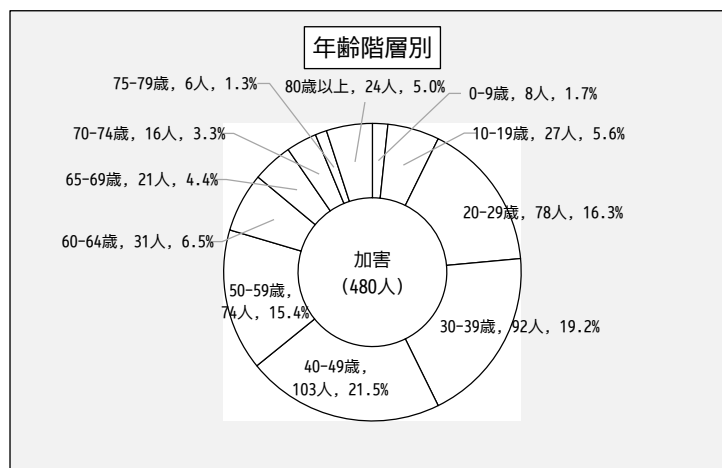
郡山市は増減を繰り返しているものの、2014年と比較すると減少している。
2022年は増加し、全国よりも少ないが県を上回っている。



(備考) 1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
2 算出に用いた人口はP. 5 の表1による

(4) 加害を要因とした救急搬送の年齢階層別構成（郡山市）（2014～2023年累計）

「40-49歳」が21.5%で一番多く、次いで「30-39歳」が19.2%、「20-29歳」が16.3%となっている。

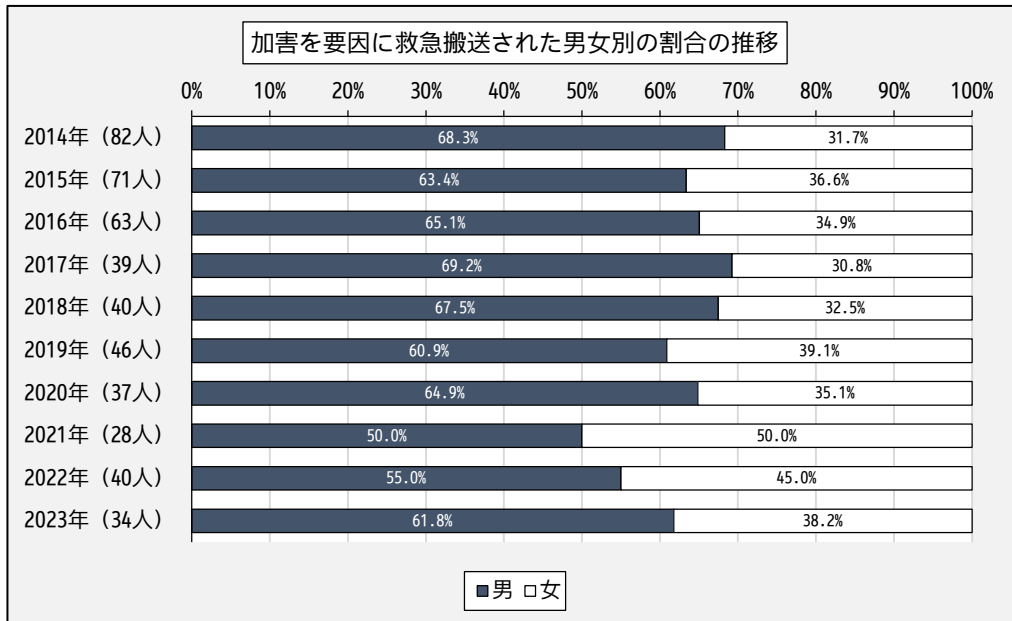


(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野5 防犯

(5) 加害を要因とした救急搬送の男女別構成（郡山市）

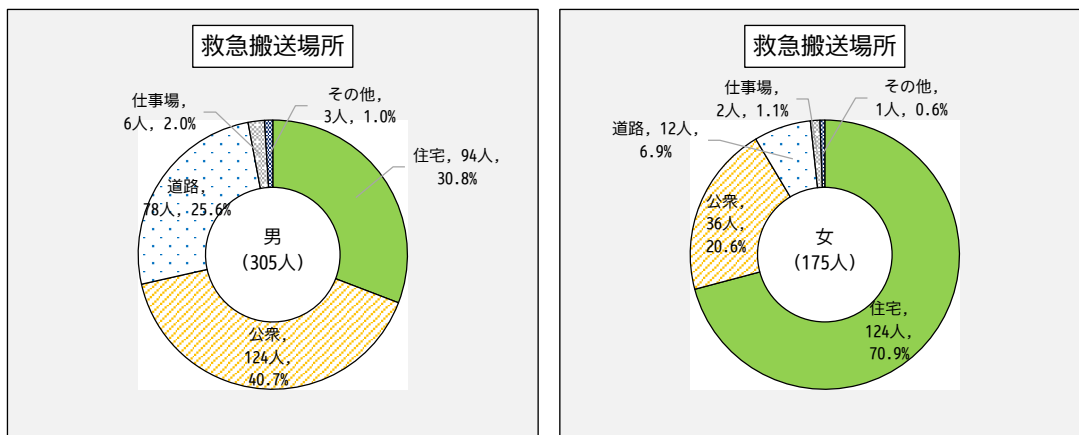
各年で男性の割合が大きい。2023年は男性の割合が6割以上を占めている。



(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

(6) 加害を要因とした男女別の救急搬送場所（郡山市）（2014～2023年累計）

男性は、「公衆」が40.7%で一番多く、次いで「住宅」が30.8%、「道路」が25.6%となっている。女性は、「住宅」が70.9%で一番多く、次いで「公衆」が20.6%、「道路」が6.9%となっている。



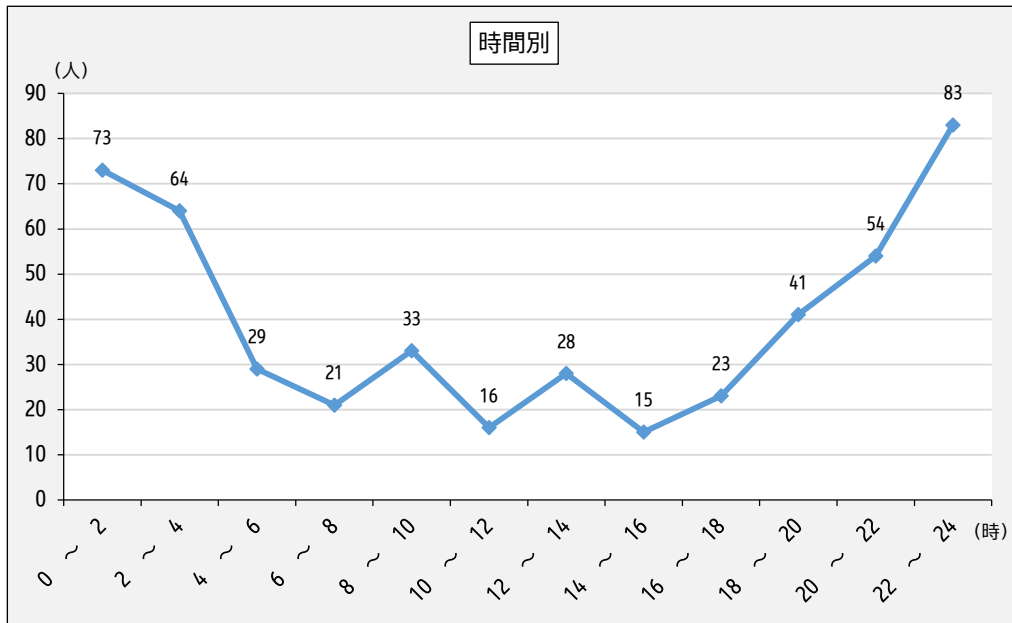
(備考) 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野5 防犯

(7) 加害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014～2023年累計)

ア 時間別

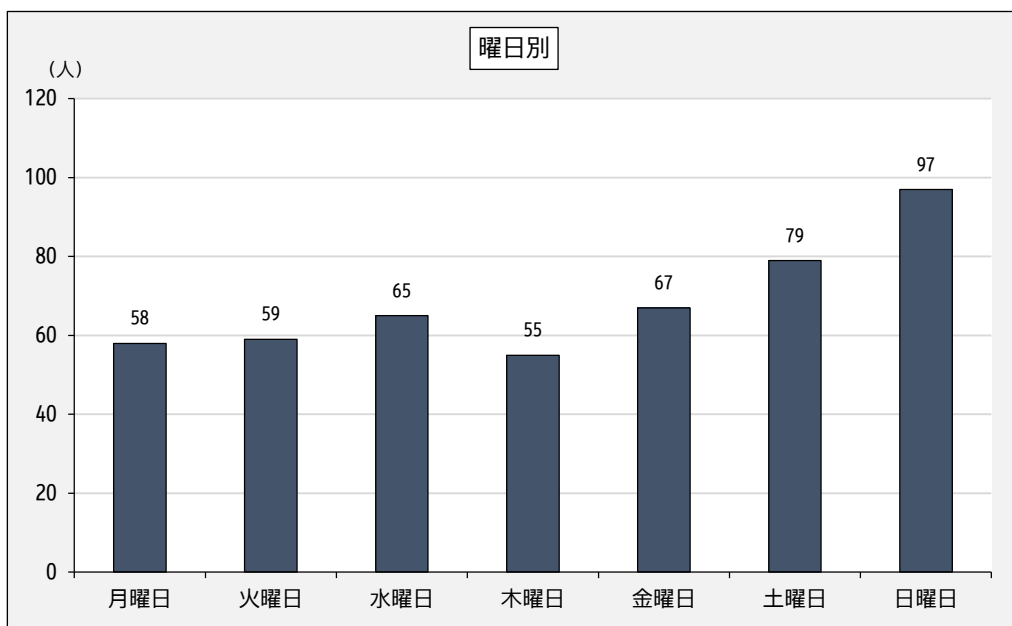
「22～24時台」が83人で一番多く、次いで「0～2時台」が73人、「2～4時台」が64人となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

イ 曜日別

「日曜日」が97人で一番多く、次いで「土曜日」が79人、「金曜日」が67人となっている。

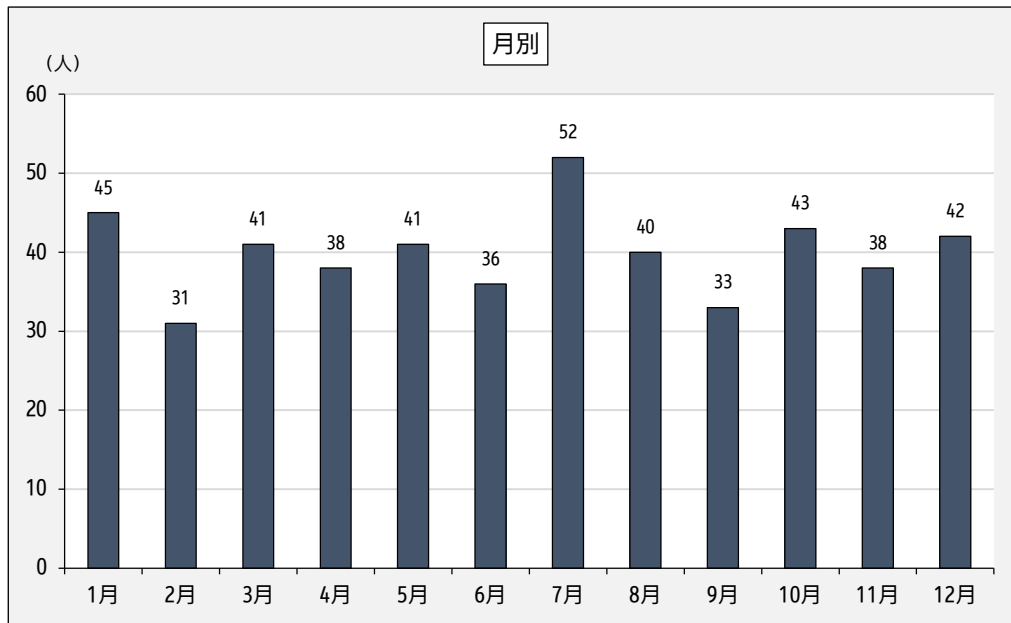


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野5 防犯

ウ 月別

「7月」が52人で一番多く、次いで「1月」が45人、「10月」が43人となっている。

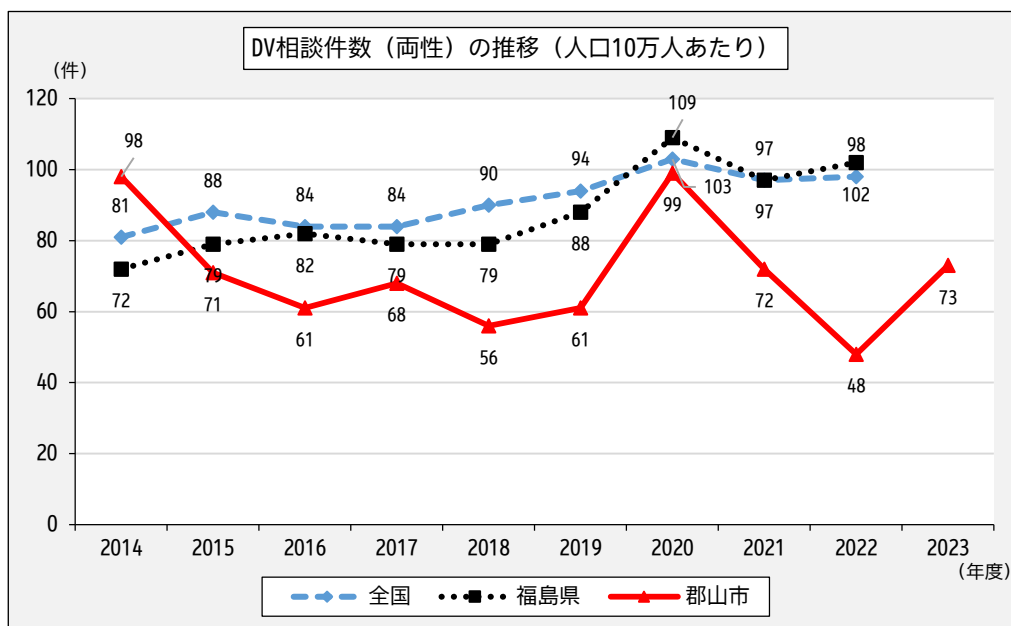


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(8) 配偶者によるDV(ドメスティックバイオレンス)相談件数の推移(郡山市) (人口10万人あたり)

郡山市は、2020年度に増加した。

2014年度に全国及び県を上回ったが、それ以外の年は下回っている。



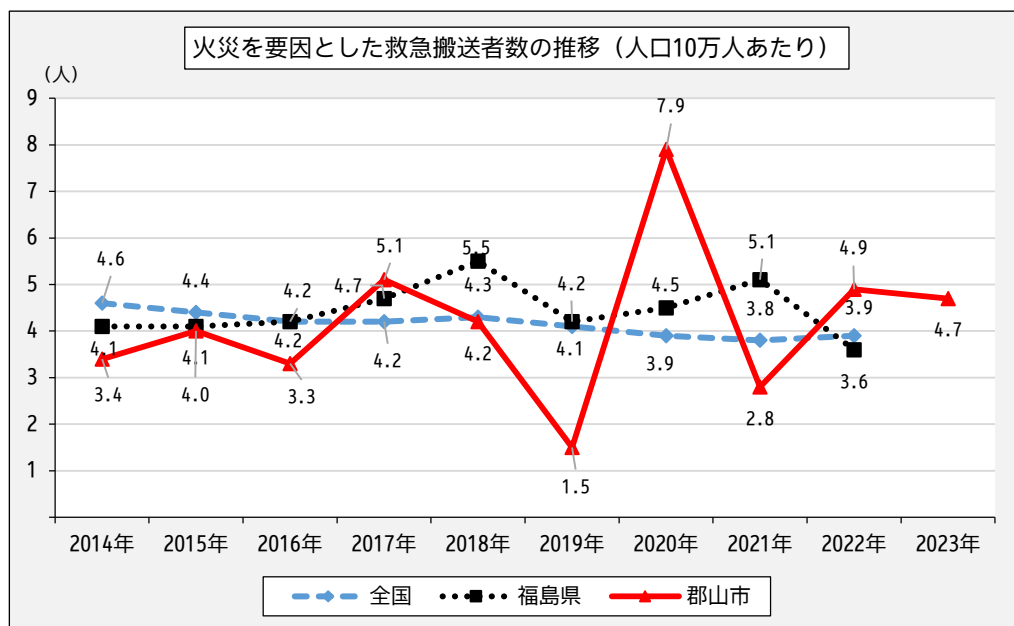
(備考) 1 「配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数等」(男女共同参画局)、
「相談等の取扱件数推移(相談延べ件数)」(郡山市こども家庭課)を加工して作成

2 算出に用いた人口はP. 5の表1による

分野6 防災

(1) 火災を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2020年に大幅に増加したが2021年は減少した。
2022年は全国及び県を上回っている。



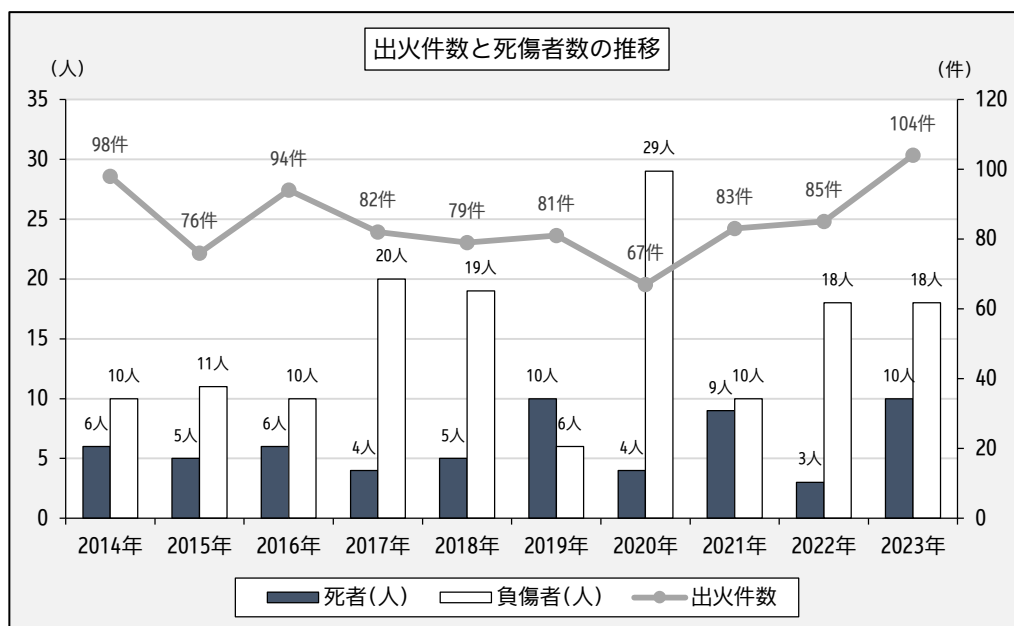
（備考）1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

2 算出に用いた人口はP.5の表1による

3 2020年7月30日に郡山市島2丁目地内において大規模な建物火災（爆発）があった

(2) 出火件数と死傷者数の推移（郡山市）

出火件数は、2017年以降横ばいで推移していたが、2023年は増加した。
負傷者は増減を繰り返している。

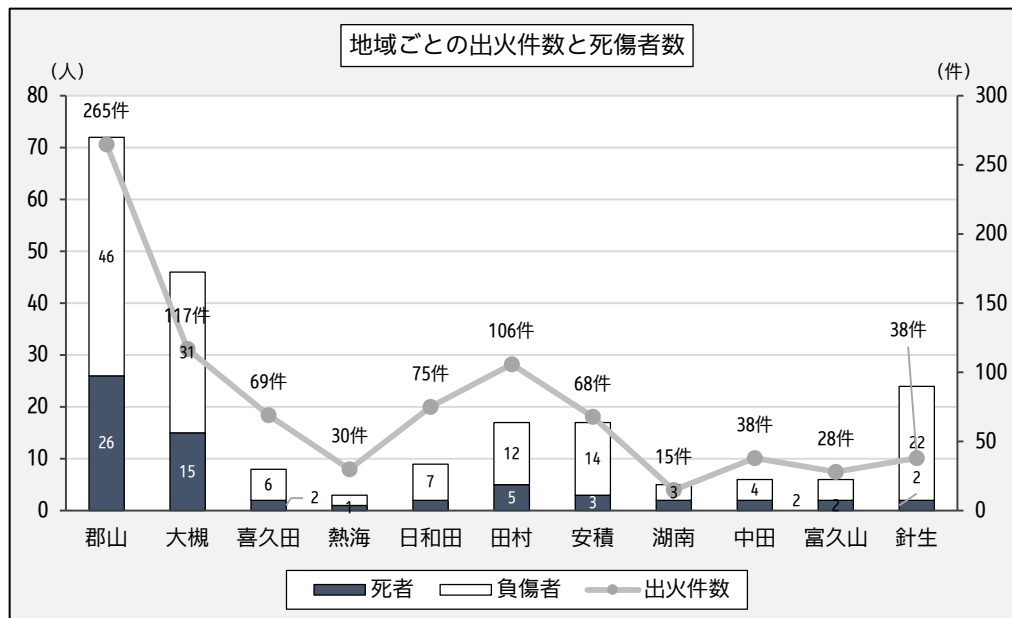


（備考）「消防年報こおりやま」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野6 防災

(3) 署所別の出火件数と死傷者数（郡山市）（2014～2023年累計）

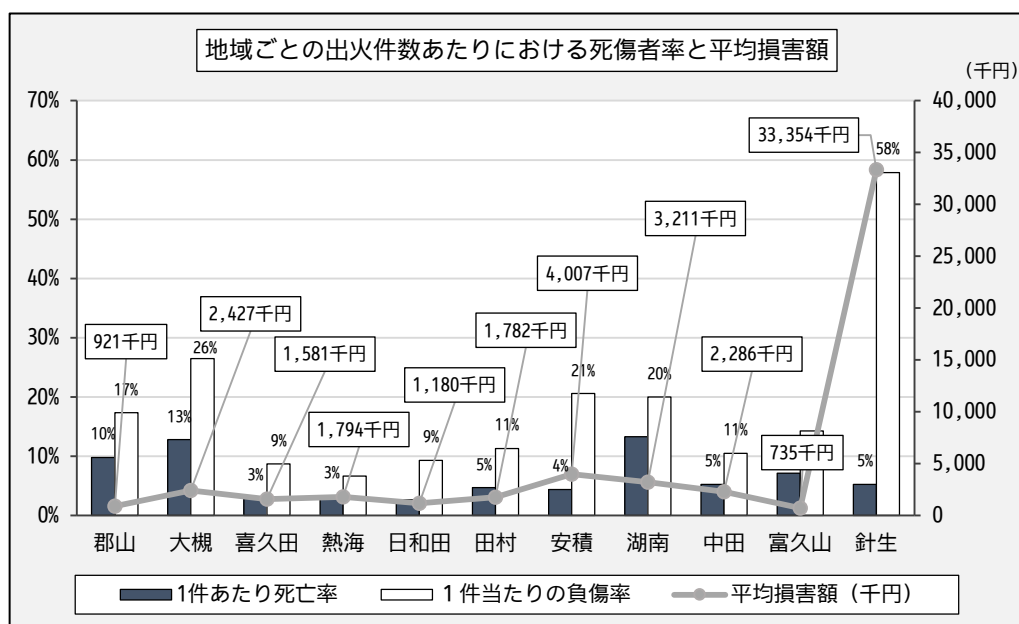
出火件数では、「郡山」が265件で一番多く、次いで「大槻」が117件、「田村」が106件となっている。死傷者数では、「郡山」が72人で一番多く、次いで「大槻」が46人、「針生」が24人となっている。



(備考) 「消防年報こおりやま」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(参考)

署所別の出火件数あたりにおける死傷者率と平均損害額（郡山市）
（2014～2023年累計）



(備考) 1 「消防年報こおりやま」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 富久山分署は2019年11月から業務開始

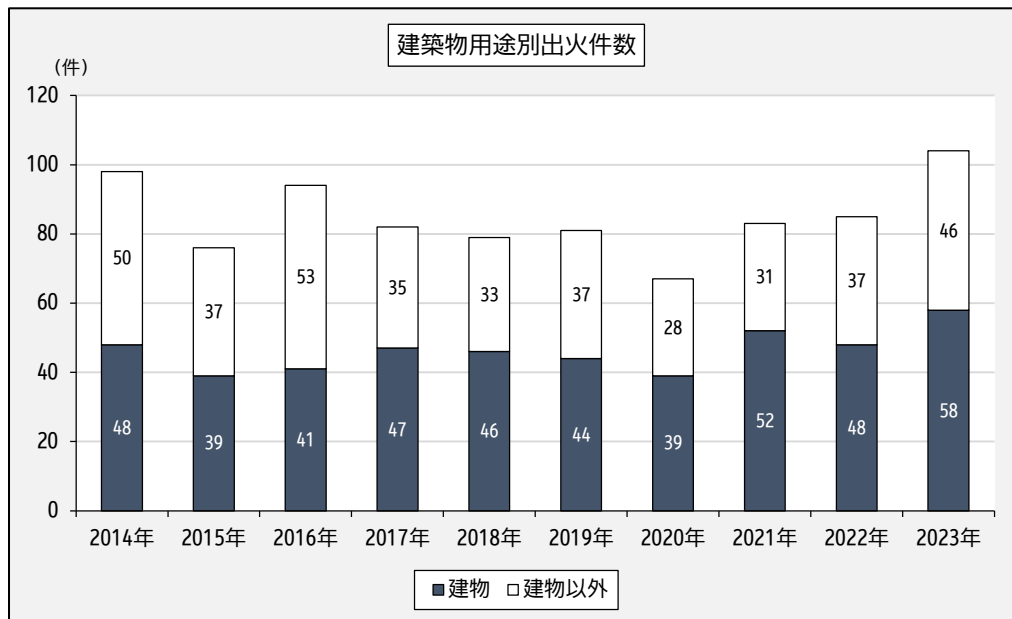
3 針生救急所は、郡山市島2丁目地内における大規模な建物火災（爆発）発生のため

1件当たりの負傷率及び平均損害額が大きくなっている。

分野6 防災

(4) 出火発生場所（郡山市）

2017年以降は、「建物」の割合が多い。

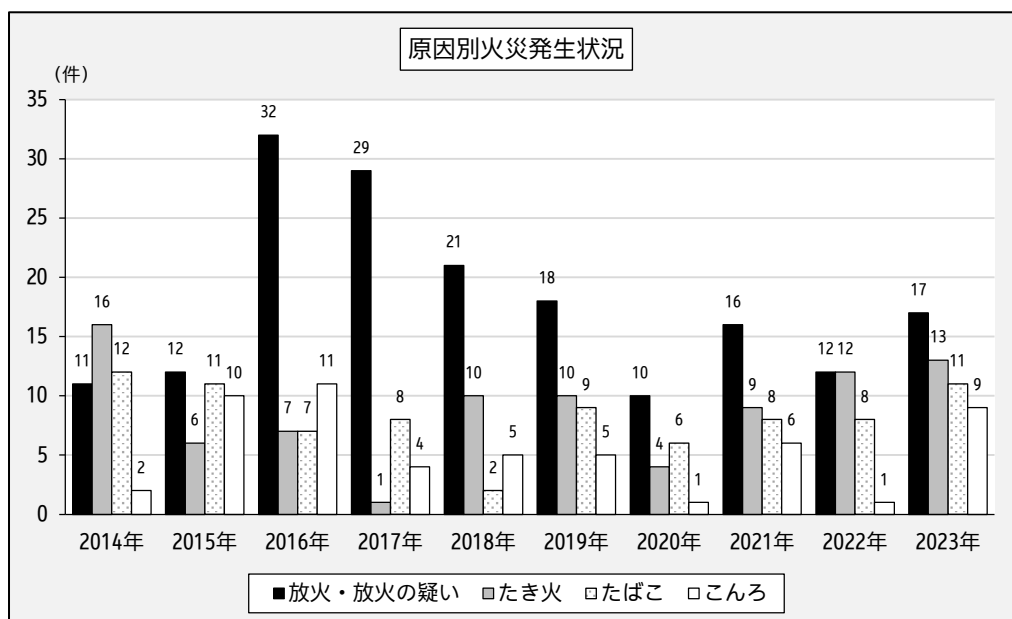


(備考) 「消防年報こおりやま」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(5) 火災発生原因（郡山市）

(2023年においてその他及び不明を除く火災原因のうち多い4項目での比較)

2023年では、「放火・放火の疑い」が17件で一番多く、次いで「たき火」が13件、「たばこ」が11件となっている。

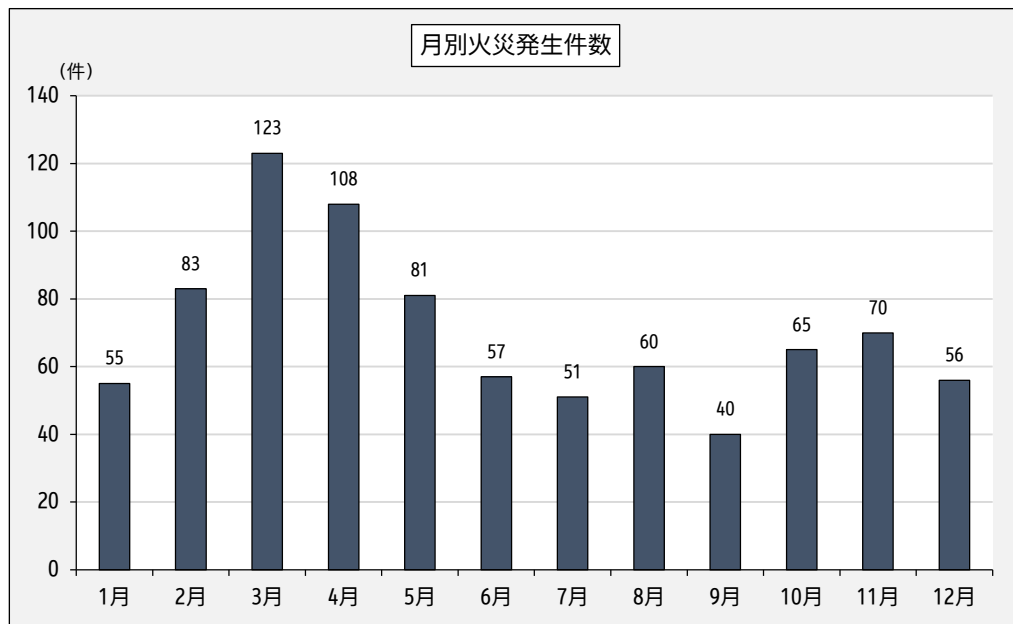


(備考) 「消防年報こおりやま」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野6 防災

(6) 月別火災発生件数(郡山市) (2014～2023年累計)

月別では「3月」が123件で一番多く、次いで「4月」が108件、「2月」が83件となっている。



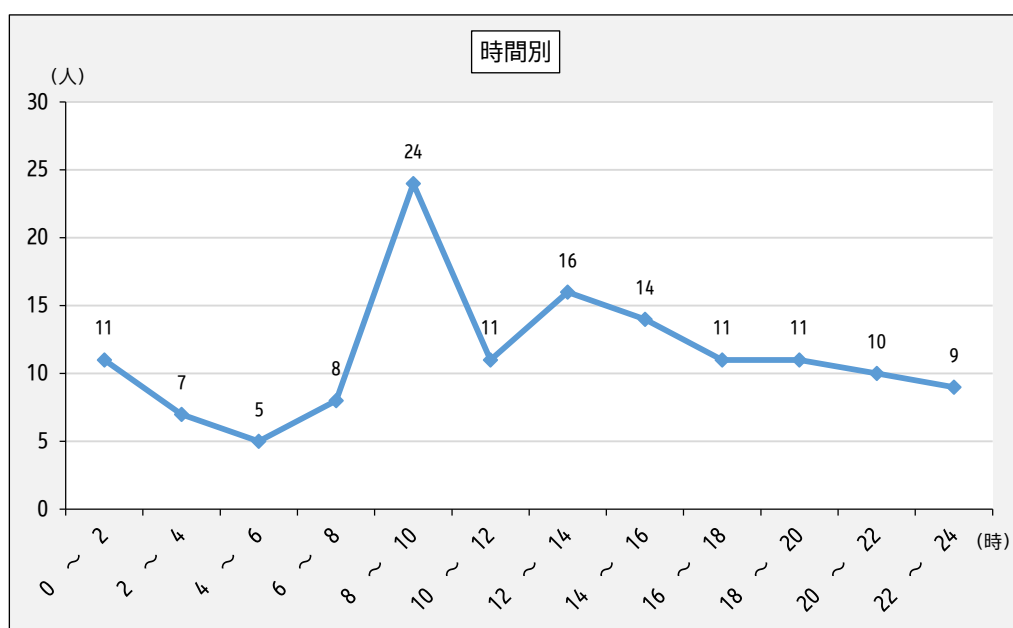
(備考) 「消防年報こおりやま」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(7) 火災を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数(郡山市) (2014～2023年累計)

※2020年7月30日(木)8時57分頃に郡山市島2丁目地内において大規模な建物火災(爆発)が発生したため、該当する時間・曜日・月の人数が多くなっている。

ア 時間別

時間別では、「8～10時台」が24人で一番多い。

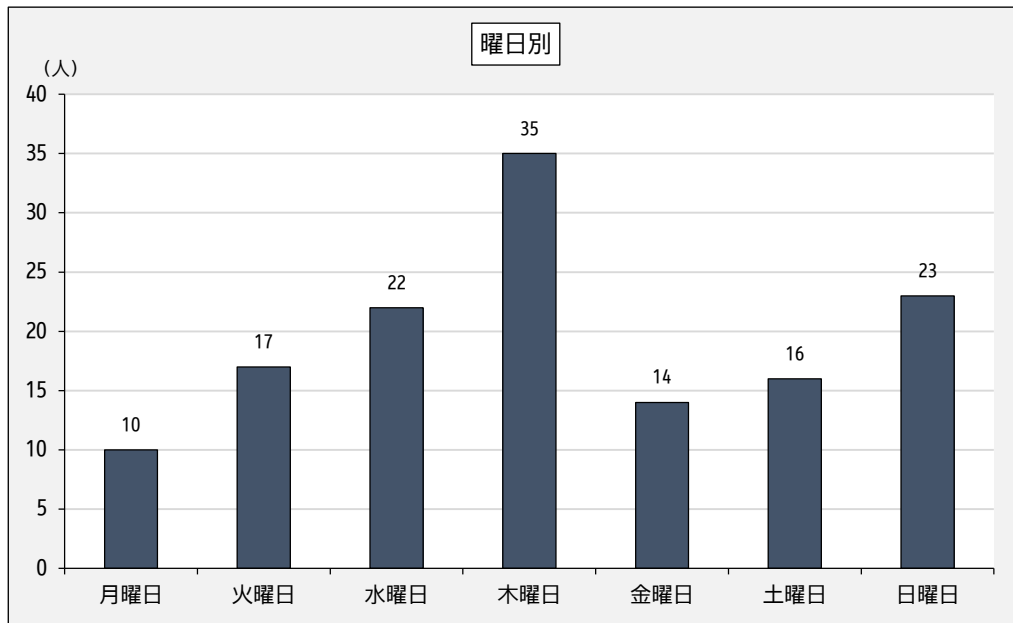


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野6 防災

イ 曜日別

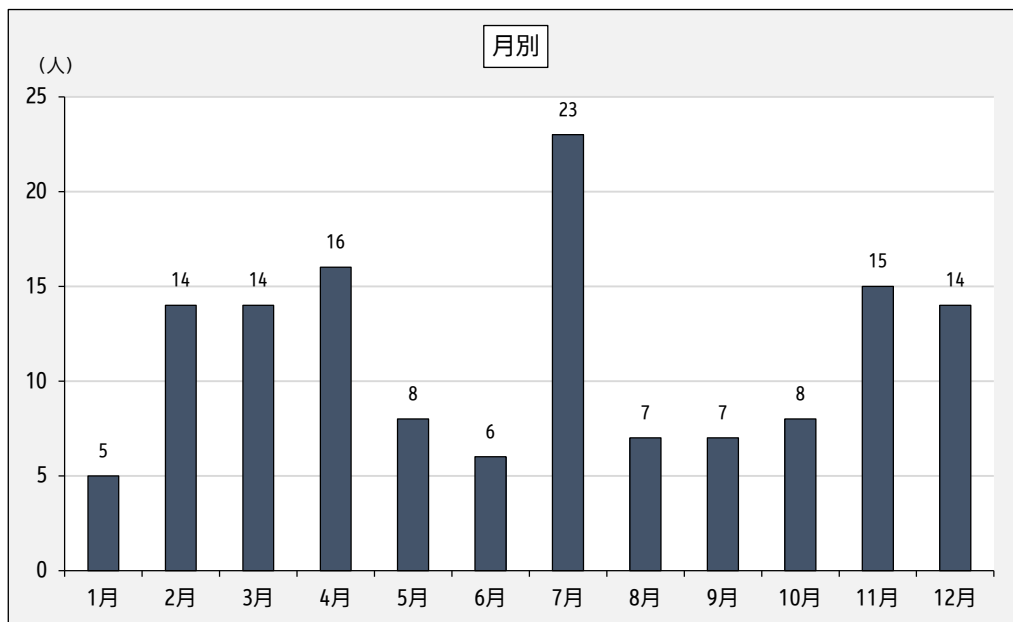
曜日別では、「木曜日」が35人で一番多く、次いで「日曜日」が23人となっている。



(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

ウ 月別

月別では、「7月」が23人で一番多く、次いで「4月」が16人、「11月」が15人となっている。

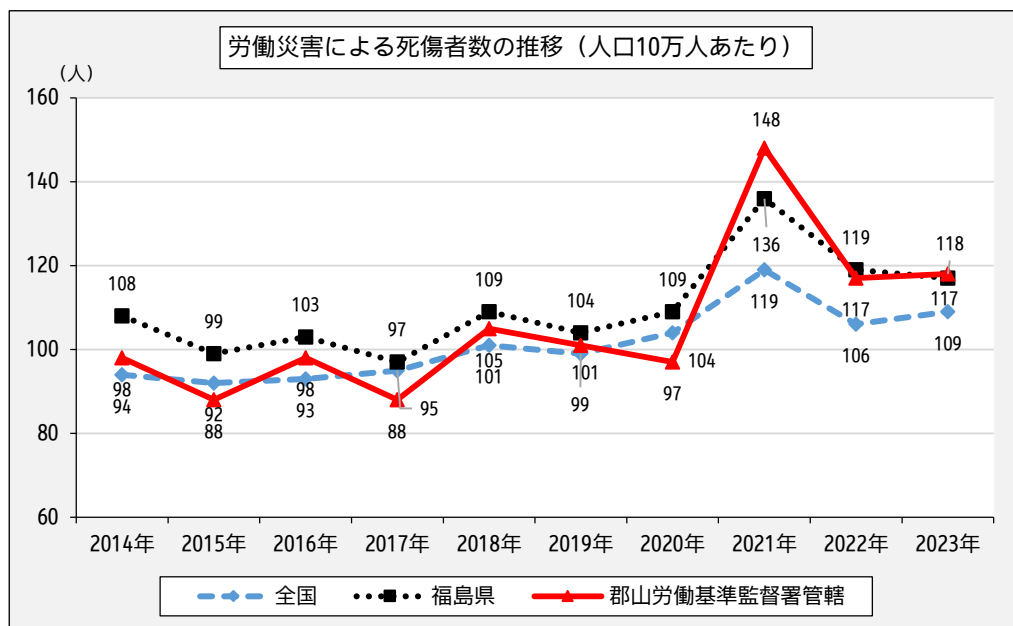


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

分野6 防災

(8) 労働災害による死傷者数推移（人口10万人あたり）

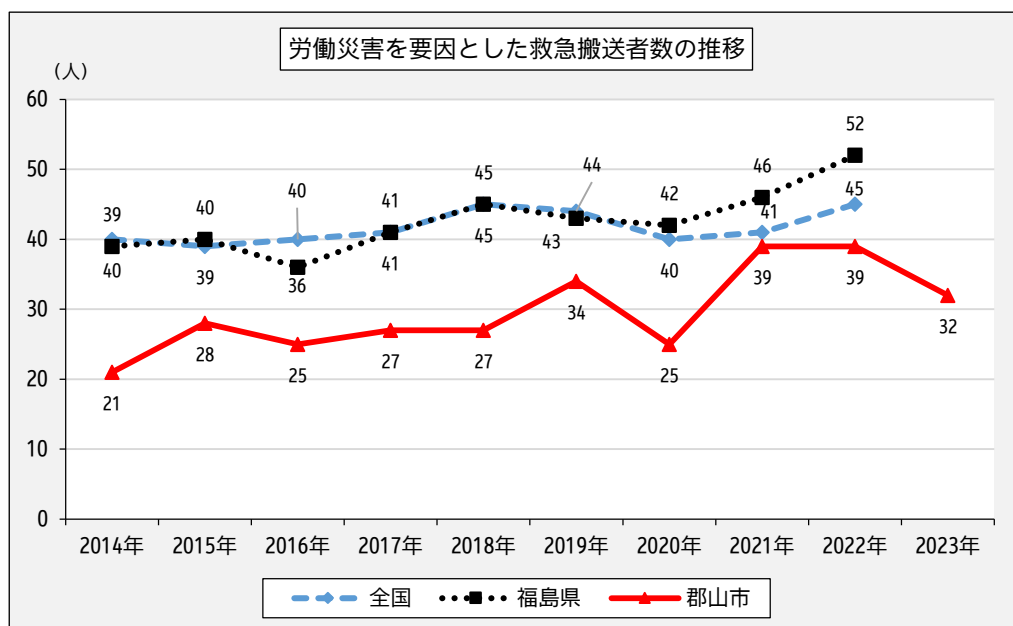
郡山労働基準監督署管轄では、増加傾向にあり、2022年以降はコロナウイルス感染症流行前の2019年と比べ増加し、全国を上回っている。



- (備考) 1 「労働災害発生状況」（厚生労働省労働基準局、福島労働局、郡山労働基準監督署）を加工して作成
 2 算出に用いた人口はP. 5の表3による
 3 2020年、2021年は職場での新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を含むが、2022年、2023年は含まない

(9) 労働災害を要因とした救急搬送者数推移（人口10万人あたり）

郡山市は、2014年以降増加しているが、各年で全国及び県を下回っている。2021年、2022年は増加したが2023年は減少した。



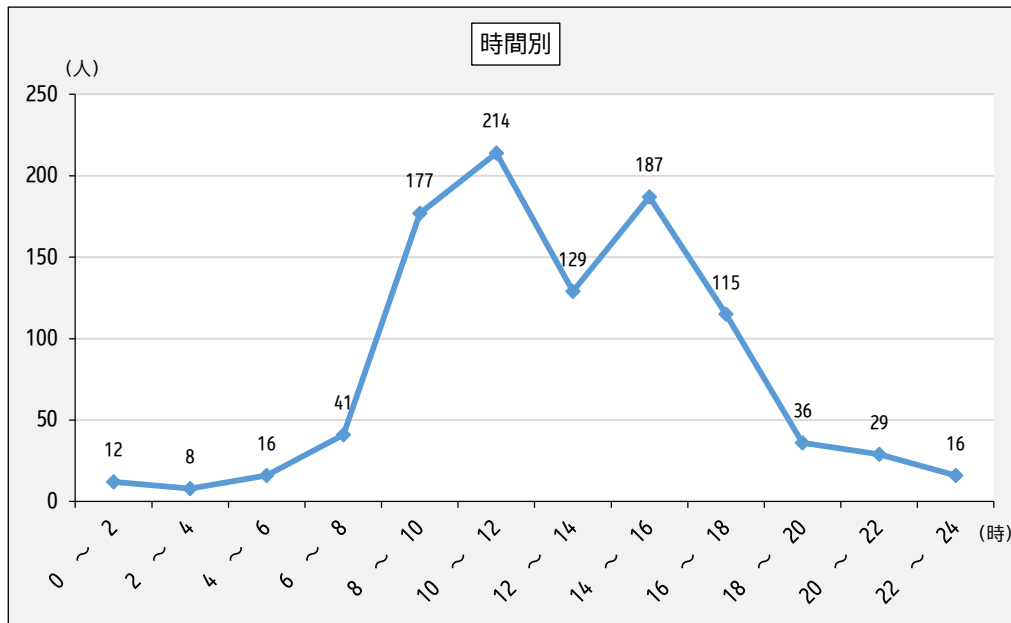
- (備考) 1 「消防白書」（総務省消防庁）、「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成
 2 算出に用いた人口はP. 5の表3による

分野6 防災

(10) 労働災害を要因とした時間・曜日・月別救急搬送者数（郡山市） （2014～2023年累計）

ア 時間別

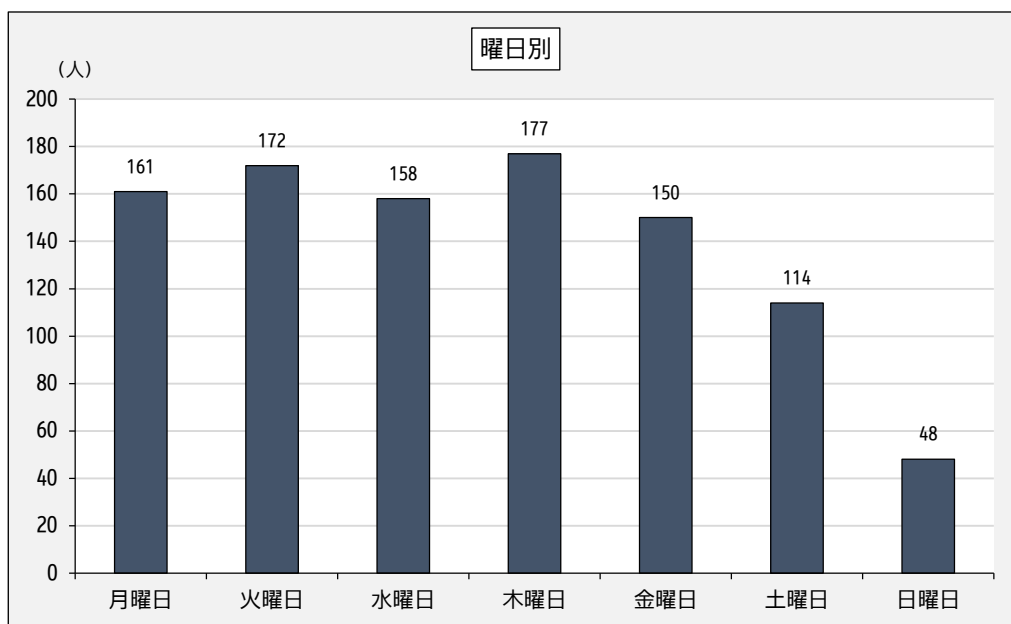
「10～12時台」が214人で一番多く、次いで「14～16時台」が187人、「8～10時台」が177人となっている。



（備考） 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

イ 曜日別

「木曜日」が177人で一番多く、次いで「火曜日」が172人、「月曜日」が161人となっている。

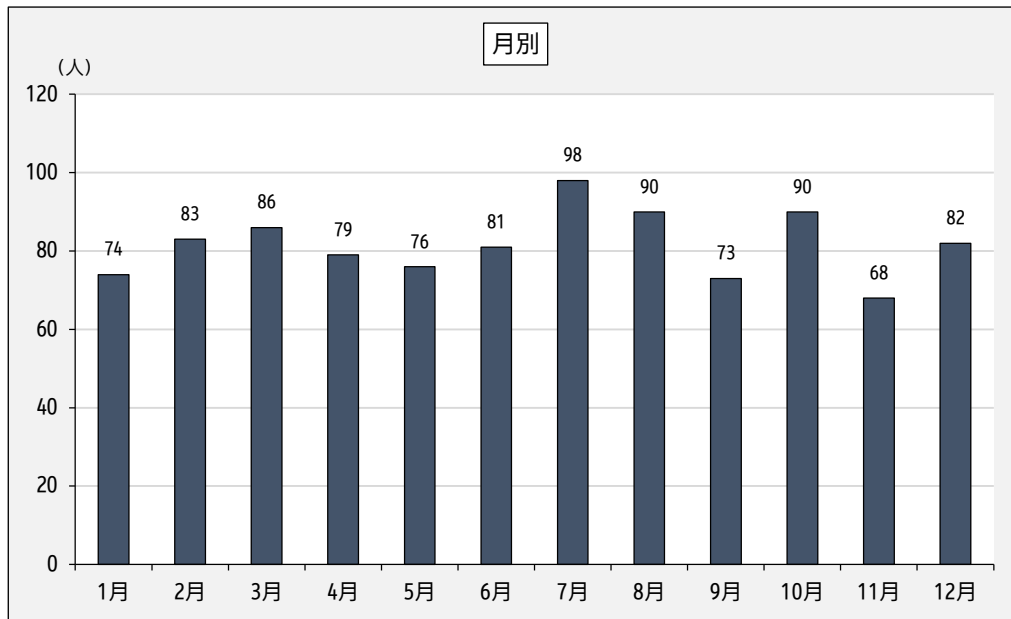


（備考） 「救急搬送データ（国表）」（郡山地方広域消防組合）を加工して作成

分野6 防災

ウ 月別

「7月」が98人で一番多く、次いで「8月」「10月」が90人、「3月」が86人となっている。

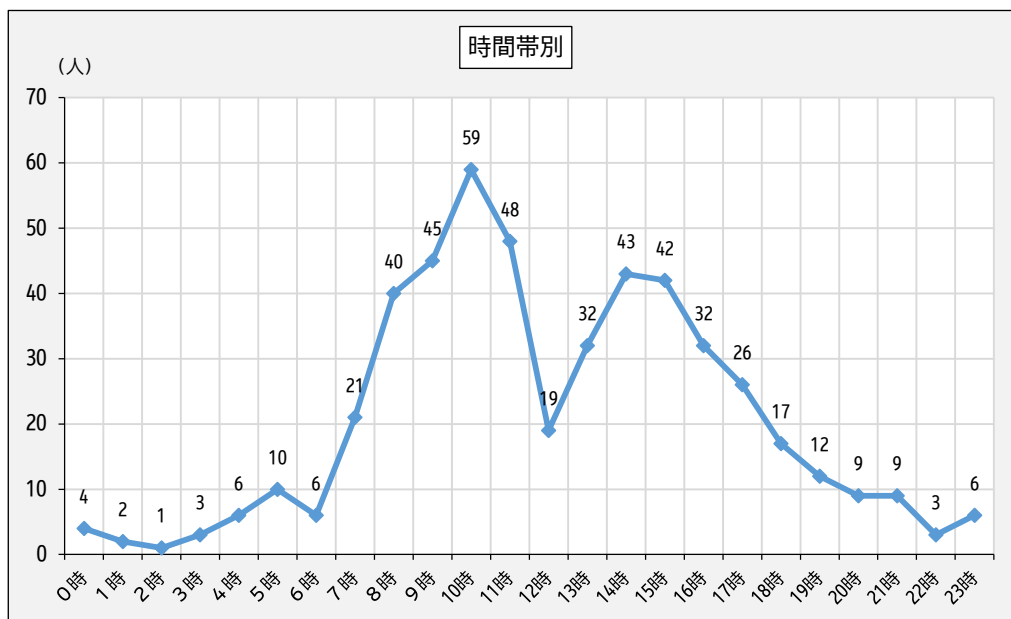


(備考) 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

(11) 労働災害による時間帯・曜日・月別死傷者数(郡山労働基準監督署管轄内)(2023年)

ア 時間帯別

「10時台」が59人で一番多く、次いで「11時台」が48人、「9時台」が45人となっている。

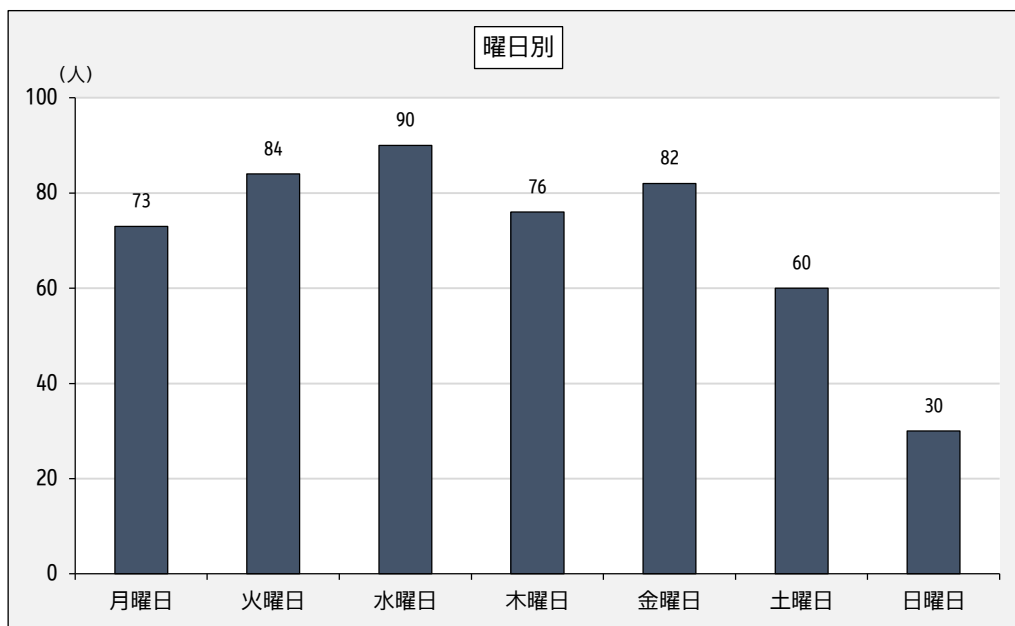


(備考) 「労働災害発生状況」(郡山労働基準監督署)を加工して作成

分野6 防災

イ 曜日別

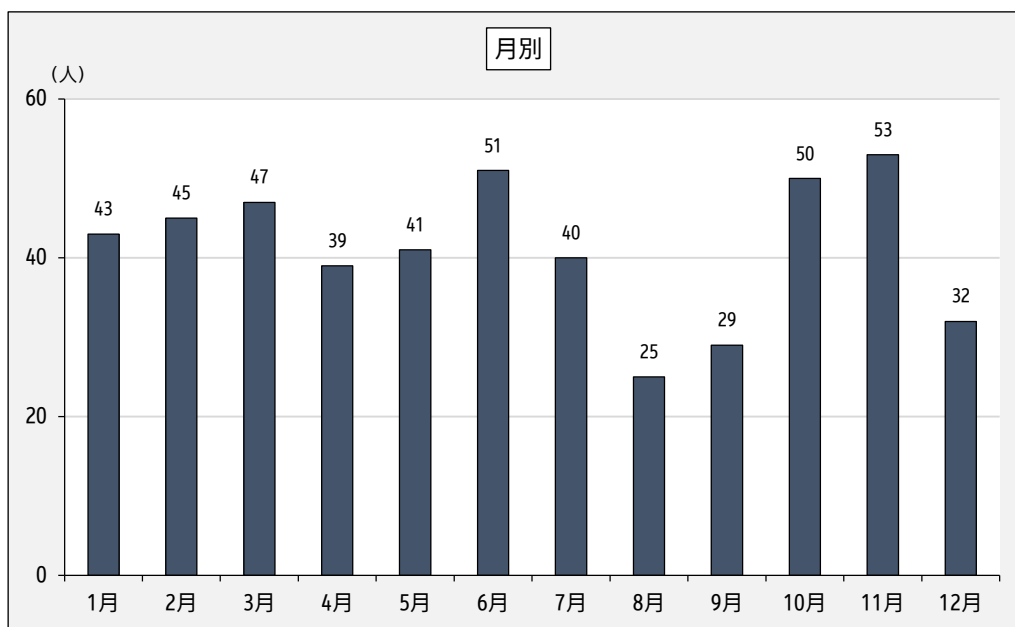
「水曜日」が90人で一番多く、次いで「火曜日」が84人、「金曜日」が82人となっている。



(備考) 「労働災害発生状況」(郡山労働基準監督署)を加工して作成

ウ 月別

「11月」が53人と一番多く、次いで「6月」が51人、「10月」が50人となっている。

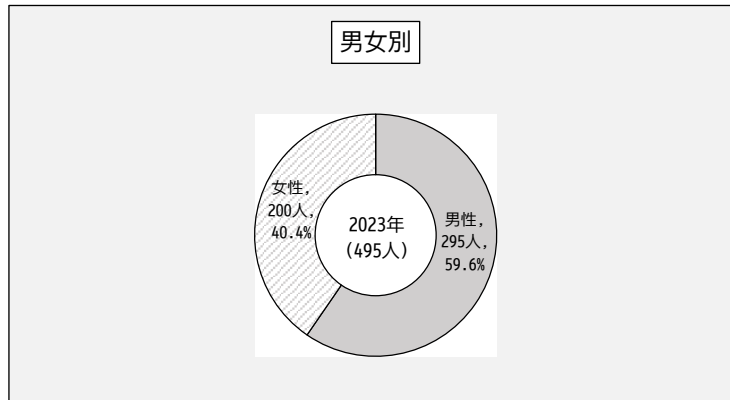


(備考) 「労働災害発生状況」(郡山労働基準監督署)を加工して作成

分野6 防災

(12) 男女別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

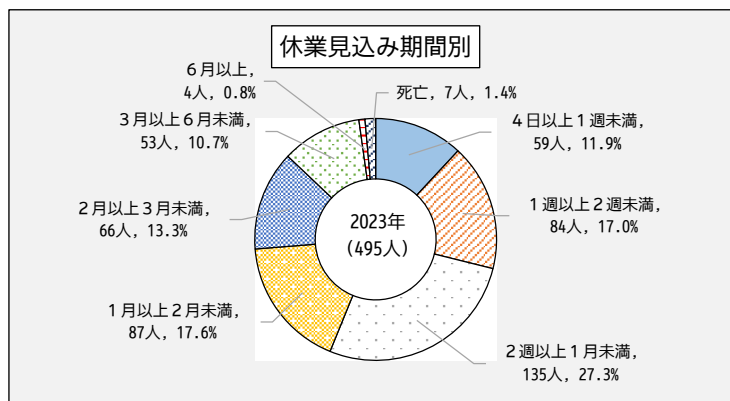
男性が59.6%、女性が40.4%となっている。



（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）により作成

(13) 休業見込み期間別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

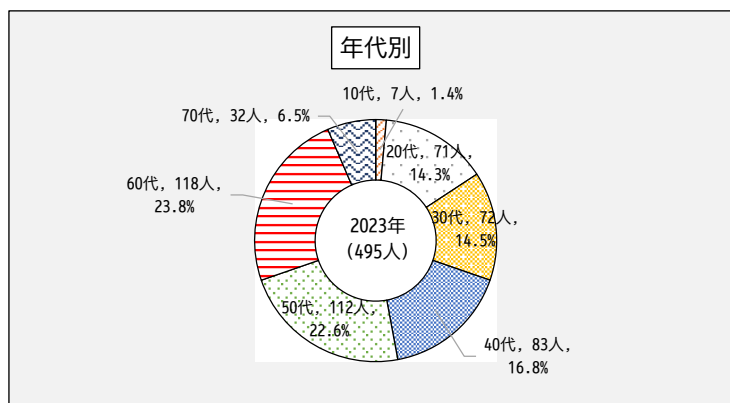
「2週間以上1月未満」が27.3%で一番多く、次いで「1月以上2月未満」が17.6%、「1週以上2週未満」が17.0%となっている。



（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

(14) 年代別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

「60代」が23.8%と一番多く、次いで「50代」が22.6%、「40代」が16.8%となっている。

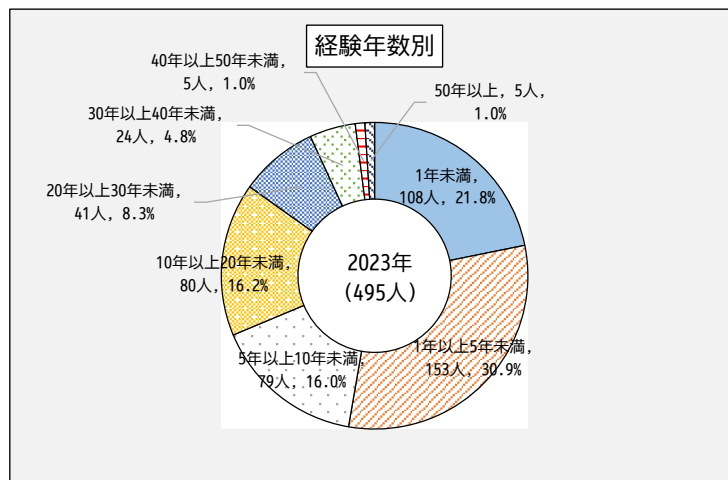


（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

分野6 防災

(15) 経験年数別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

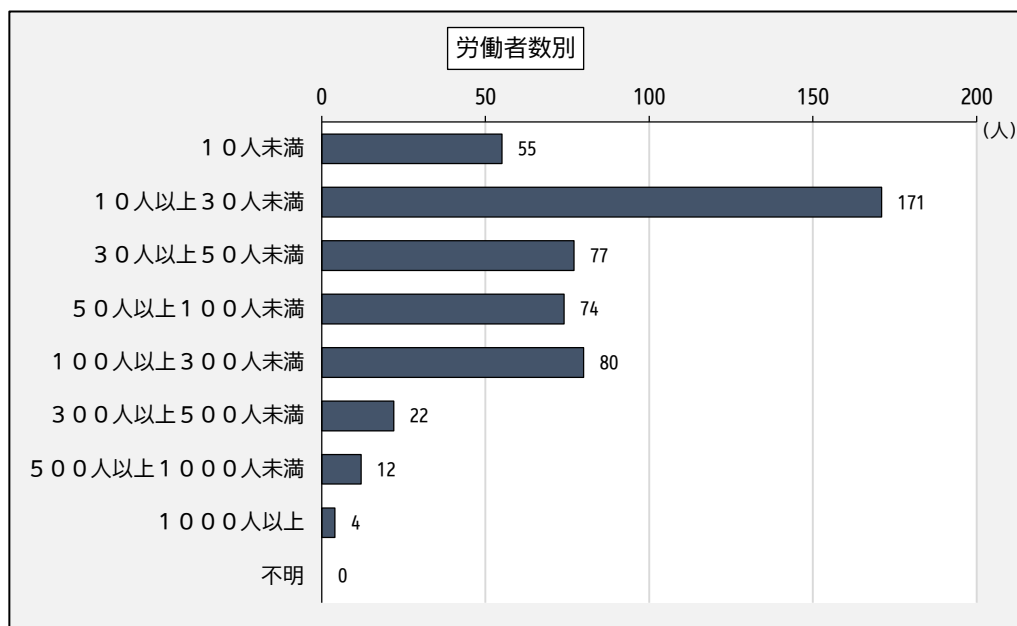
「1年以上5年未満」が30.9%と一番多く、次いで「1年未満」が21.8%、「10年以上20年未満」が16.2%となっている。経験年数5年未満が半数以上を占めている。



（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

(16) 労働者数別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

「10人以上30人未満」が171人で一番多く、次いで「100人以上300人未満」が80人、「30人以上50人未満」が77人となっている。

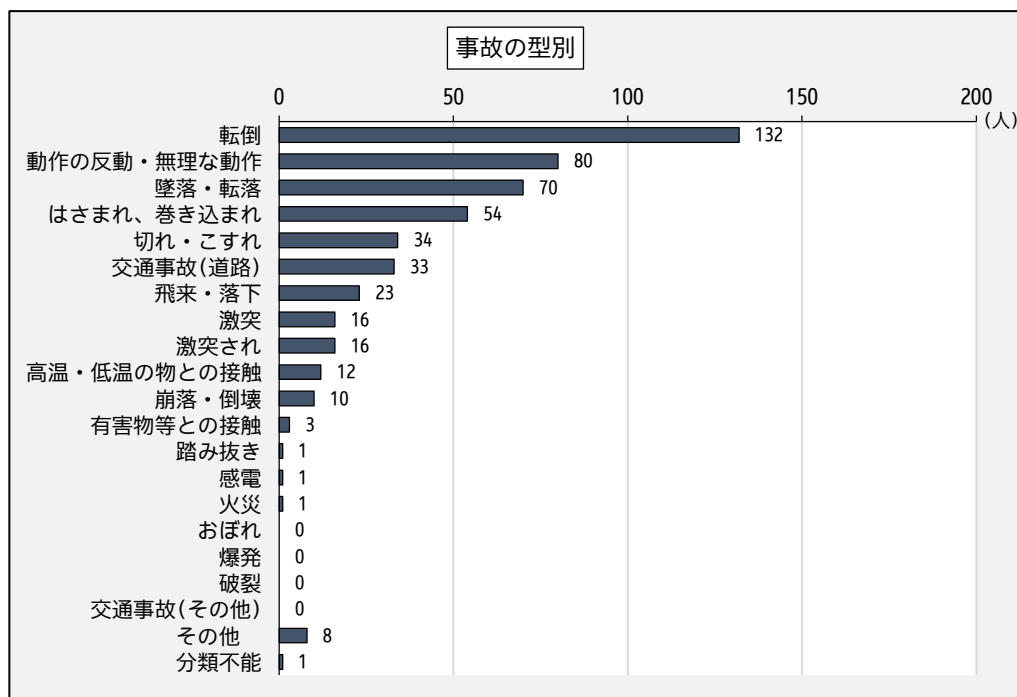


（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

分野6 防災

(17) 事故の型別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

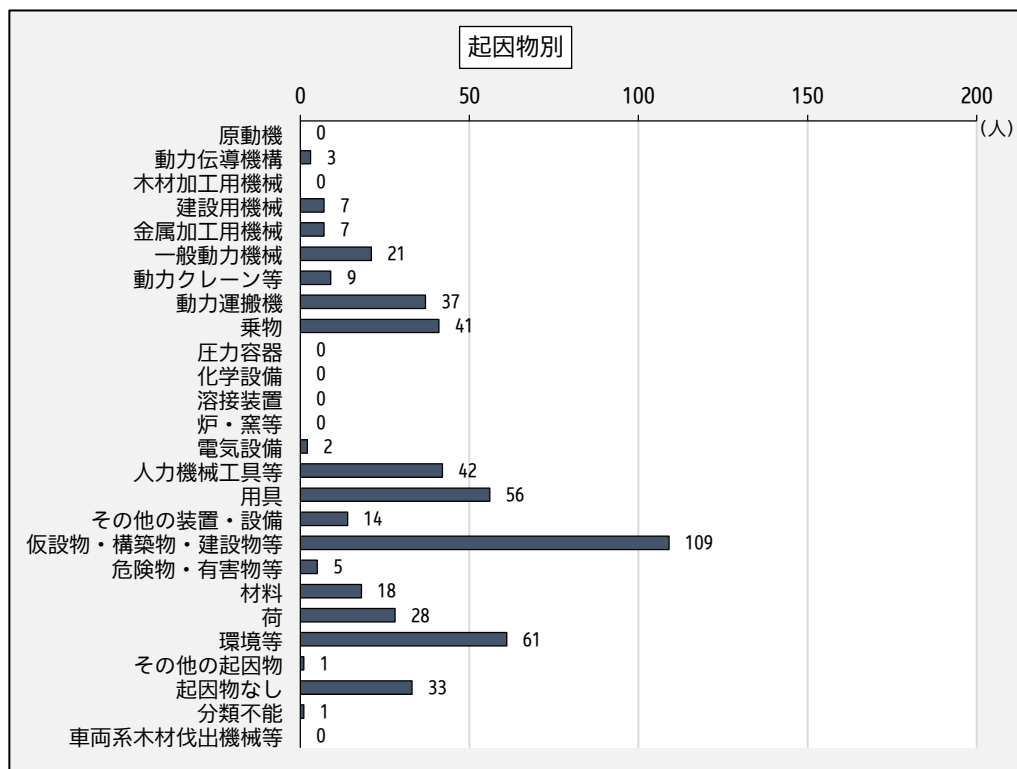
「転倒」が132人で一番多く、次いで「動作の反動・無理な動作」が80人、「墜落・転落」が70人となっている。



（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

(18) 起因物別労働災害による死傷者数（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

「仮設物・構築物・建設物等」が109人で一番多く、次いで「環境等」が61人、「用具」が56人となっている。

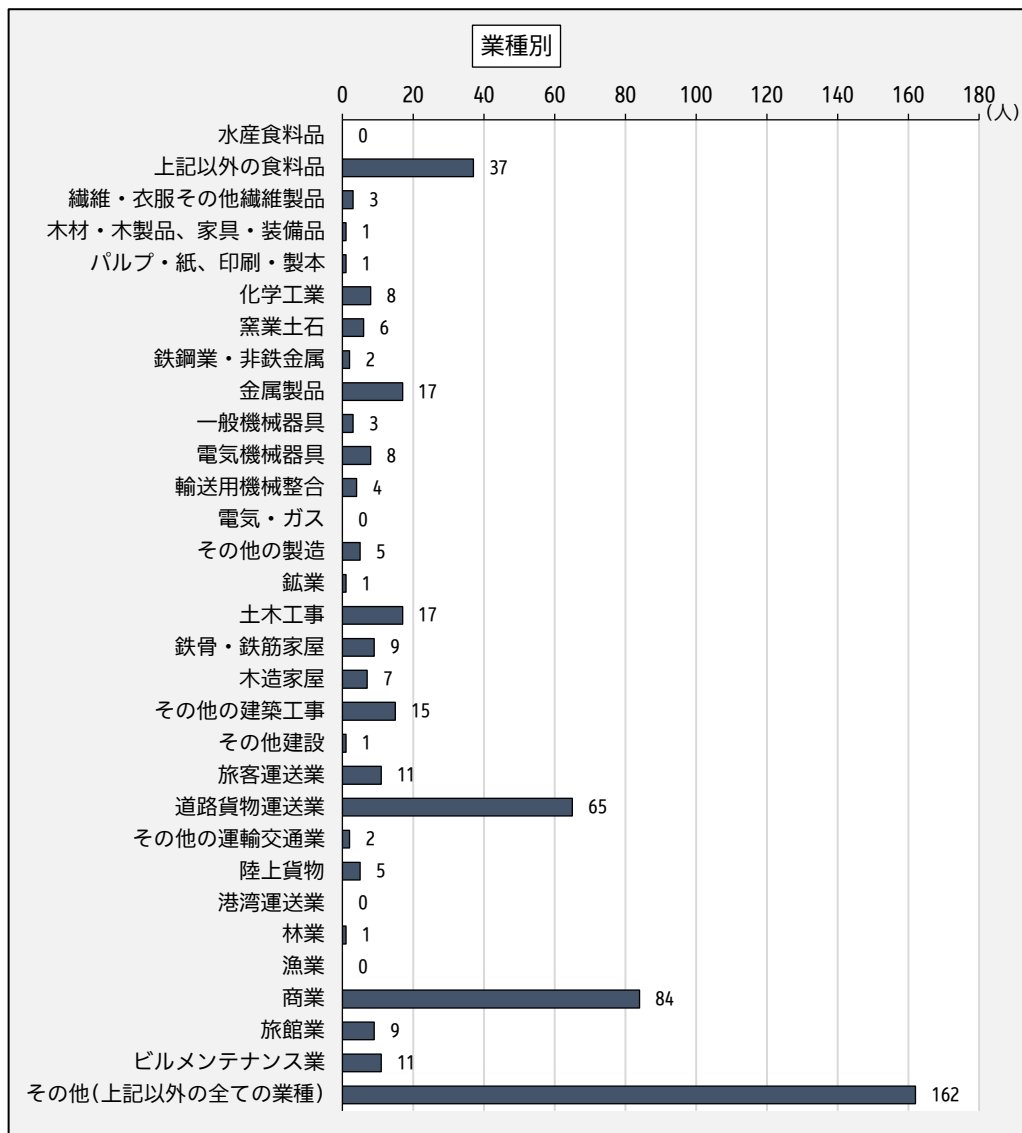


（備考） 「労働災害発生状況」（郡山労働基準監督署）を加工して作成

分野6 防災

(19) 業種別労働災害発生状況（郡山労働基準監督署管轄内）（2023年）

「その他」が162人で一番多く、次いで「商業」が84人、「道路貨物運送業」が65人となっている。



(備考) 「労働災害発生状況」(郡山労働基準監督署)を加工して作成

参考1 救急搬送・死亡要因順位

(1) 救急搬送順位 (2014～2023年累計) ※病気を除く

	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
新生児～乳幼児 (0～6歳まで)	一般負傷	1,084人	交通事故	281人	加害	8人	運動競技 水難	2人		
少年 (7～17歳まで)	交通事故	1,218人	運動競技	624人	一般負傷	602人	自損行為	53人	加害	13人
成人 (18～64歳まで)	交通事故	6,600人	一般負傷	3,641人	自損行為	877人	労働災害	826人	加害	392人
高齢者 (65歳以上)	一般負傷	10,941人	交通事故	2,407人	自損行為	168人	労働災害	152人	加害	67人
全年齢	一般負傷	16,268人	交通事故	10,506人	自損行為	1,098人	労働災害	980人	運動競技	914人

(備考) 1 「救急搬送データ(国表)」(郡山地方広域消防組合)を加工して作成

2 「急病」、「その他」を除く

(2) 年齢層別死亡要因順位 (2014～2022年累計) ※病気を除く

年齢層	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位	
10-19歳	自殺	18人	交通事故	5人						
20-29歳	自殺	53人	交通事故	7人						
30-39歳	自殺	73人	交通事故	4人						
40-49歳	自殺	92人	交通事故	16人	転倒・転落	4人				
50-59歳	自殺	91人	交通事故	17人	転倒・転落 窒息	9人	煙・火・火災	7人		
60-69歳	自殺	69人	交通事故	20人	窒息	19人	転倒・転落 溺死・溺水	17人	煙・火・火災	9人
70-79歳	自殺	64人	窒息	36人	転倒・転落 溺死・溺水	30人	交通事故	22人	煙・火・火災	8人
80-89歳	窒息	101人	転倒・転落	76人	溺死・溺水	57人	自殺	45人	交通事故	17人
90歳以上	転倒・転落 窒息	58人	溺死・溺水	11人	自殺	7人	煙・火・火災	4人		
全年齢	自殺	512人	窒息	231人	転倒・転落	197人	溺死・溺水	127人	交通事故	110人

(備考) 1 「人口動態統計」(厚生労働省)を加工して作成

2 「傷病及び死亡の外因」のうち「その他の外因」、「その他の不慮の事故」を除く

3 死亡者数が3人以下の死因は記載していない

参考2 救急搬送データの項目説明

(1) 年齢区分

区分	内容
新生児	生後28日未満の者
乳幼児	生後28日以上満7歳未満の者
少年	満7歳以上満18歳未満の者
成人	満18歳以上満65歳未満の者
高齢者	満65歳以上の者

(備考) 「消防白書」(総務省消防庁)より引用

(2) 事故種別(傷基本)名

セーフコミュニティの対象とするもの

区分	事故種別	概要
不慮の事故	火災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
	自然災害事故	暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
	水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
	交通事故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
	労働災害事故	各種工事、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
	運動競技事故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者、審判員及び関係者等の事故をいう。
	一般負傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
故意の事故	加害	故意に他人によって障害等を加えられた事故をいう。
	自損行為	故意に自分自身に障害等を加えた事故をいう。

(備考) 「救急業務規程(平成19年3月27日消防訓令第16号)」より引用

(3) 傷病程度名

傷病程度	内容
軽症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
中等症	傷病程度が重症又は軽症以外のもの
重症	傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
死亡	初診時において死亡が確認されたもの

(備考) 「消防白書」(総務省消防庁)より引用

(4) 発生場所大分類名と発生場所中分類名(住宅は発生場所小分類名あり)

大分類名	住宅
中分類名	住宅(2階以下)、高層住宅(3階以上)
小分類名	居室(居間、応接室、寝室など)
	廊下(玄関などの通路を含む)
	浴室(シャワー室、洗面所を含む)
	台所(食堂を含む)
	庭(テラス等を含む)
	階段(踊場を含む)
	便所
	屋根(屋上、物干し台、ベランダ、バルコニー等を含む)
	その他(物置、地下室、車庫等)

参考2 救急搬送データの項目説明

大分類名	公衆
中分類名	寺・神社・教会等
	デパート：百貨店、延べ面積1,000㎡以上の大規模な小売店舗
	遊技場：ボウリング場、パチンコ等の各種遊技場
	官公庁：官公庁、大使館、公使館、領事館等の公共施設
	駐車場、車庫（一般住宅、高層住宅の車庫、駐車場を除く）
	公衆浴場・蒸気・熱気浴場
	マーケット、店舗、展示場：あらゆる店舗、はり灸マッサージ業等
	老人ホーム：老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設
	待合、料理店、飲食店：待合、料理店、飲食店
	運動場（学校等のグラウンドを除く）、競技場、各種スポーツ施設
	駅構内（ホーム等を含む）：駅舎、ホール、電車内等
	公会堂、集会場：会議、社交等の目的で多数の人々が集まる場所
	小・中・高・大学（グラウンド、附属設備を含む）
	各種学校の許可を受けているもの（グラウンド、附属設備を含む）
	キャバレー、カフェ、ナイトクラブ
	性風俗関連特殊営業を営む店舗等
	旅館、ホテル、宿泊所（バンガロー含む）
	劇場、映画館、演芸場、観覧場：劇場、映画館等の観覧場
	映画・テレビスタジオ：映画・テレビスタジオ（構内を含む）
	盲・ろう学校養護学校（グラウンド、附属施設等含む）
	病院：病床数20以上の医療機関
	図書館、博物館、美術館、郷土館、記念館、画廊等
	地下街（地下街にある店舗及びそれに付随するもの）
	診療所（医院）：病床数19以下の診療所、医院
	幼稚園（グラウンド、附属設備を含む）：幼稚園、保育園等
	その他の公共の場所（動物園、遊園地、キャンプ場等）
大分類名	道路
中分類名	一般道路（一般の交通の用に供する場所、歩道、歩道橋）
	自動車専用道路（バイパス等）
	交差点
	カーブ（一般道路のカーブ）
	横断歩道（一般道路の歩道）
	高速自動車道
	その他
大分類名	仕事場
中分類名	屋外工事現場（建設、建築の屋外の場所）
	地下室（工場、作業所、各種事業所、倉庫の地下室）
	事務所（各種事業所の事務所）
	廊下・通路
	屋外作業場（工場以外の屋外の作業所）
	階段（踊場を含む）
	工場（敷地を含む）
	食堂
	倉庫（地下倉庫を除く）
	屋内工事現場（建設、建築の屋内の場所）
	便所
	格納庫（飛行機、ヘリコプター等の格納庫）
	その他

参考2 救急搬送データの項目説明

大分類名	その他
中分類名	広場（公共用）
	山林・原野：山、森林、原野、ゴルフ場
	公園：公園、庭園、児童公園、遊歩道等
	軌道敷、踏切：軌道敷内及び踏切
	河・池：河川、運河、池、沼、貯水池等
	空地（庭、広場以外）：河川敷、堤防、更地等の空地
	農地：田、畑等の農地
	その他（発生場所不明等含む）

（備考） 「救急搬送データ（詳細版）」（郡山地方広域消防組合）より引用

参考3 人口動態統計の項目説明

死因分類表（死因簡単分類表）

セーフコミュニティの対象とするもの

死因簡単分類コード	分類名	基本分類コード
20000	傷病及び死亡の外因	V01～Y89
20100	不慮の事故	V01～X59
20101	交通事故	V01～V99
20102	転倒・転落・墜落	W00～W19
20103	不慮の溺死及び溺水	W65～W74
20104	不慮の窒息	W75～W84
20105	煙、火及び火災への曝露	X00～X09
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	X40～X49
20107	その他の不慮の事故	W00～X59の残り
20200	自殺	X60～X84
20300	他殺	X85～Y09
20400	その他の外因	Y10～Y89

（備考）1 「疾病、傷害及び死因の統計分類 ICD-10（2013年版）準拠 死因分類表」（厚生労働省）より引用

2 基本分類コードはICD-10（2013年版）準拠 内容例示表「第20章 傷病及び死亡の外因（V01-Y98）」に記載

3 「人口動態統計」（厚生労働省）より引用

- ・死因基本分類表…人口動態統計で使用する死因基本分類表は、日本分類に更に人口動態統計用としての細分類項目を加えたもの
- ・死因分類表（死因簡単分類表）…我が国の死因構造を全体的に概観することを目的とし、死因基本分類表をもとに、WHOの死亡製表用リストを参考にして作成した分類表

令和 6（2024）年度郡山市セーフコミュニティ地域診断

発行月	2024年11月
編集・発行	郡山市市民部セーフコミュニティ課
場所	〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
電話	024-924-2151
メール	safecommunity@city.koriyama.lg.jp